

第6章 高等学校教育

第1節 概要

今年度は、高等学校において、アクティブ・ラーニングの視点も取り入れて生徒の学力向上を図り、将来への展望を抱かせるとともに、地域に貢献できる人材や社会においてリーダーシップを発揮できる人材を育成し、教員研修及び生徒指導等に取り組んだ。

(1) 「アクティブ・ラーニングによる学力向上推進事業」

ア スペシャリスト育成ミッション支援事業

- 対象校 20校
- 各校の取組内容
 - ・ 生徒の基礎学力を高める取組
 - (ア) 学ぶ意欲を向上させ主体的に学習に取り組む態度を育む講演会やガイダンス
 - (イ) 指導力向上のための校内研修の活性化
 - ・ 3年間の計画的な進学指導体制の充実を図る取組
学力向上連絡協議会の開催
 - ・ 生徒・保護者・教員・地域をつなぐ取組
 - (ア) 地域人材を活用した職業研究講話
 - (イ) 地域貢献活動
 - (ウ) 進路便りや年間指導計画表の作成・配布
 - ・ 社会人としての在り方についての理解を深める取組
 - (ア) 社会人としての在り方についての講演会
 - (イ) 職場見学会（選択）
 - (ウ) デュアルシステム等の実施（選択）

イ 大学進学ミッション支援事業

- 対象校 18校
- 各校の取組内容
 - ・ 思考力・判断力・表現力等の養成講座
 - ・ 教員による、難関大学等の入学試験問題の研究と発展的内容に係る指導
 - ・ 生徒の実態に応じた各校独自作成による校内模擬試験等の実施
 - ・ 社会人としての在り方についての理解を深める講話
 - ・ 大学教授等による最先端研究や理論に関する講義や演習
 - ・ 大学等と連携した最先端研究実習体験や課題研究指導（選択）
 - ・ 卒業生（大学生等）による講話
 - ・ 保護者を交えた進学勉強会
 - ・ 進路便りや年間進路指導計画表の作成・配布
- 研究会等の開催
 - ・ 学力向上のための教科指導力向上研究会
アクティブ・ラーニングの視点から生徒の主体性を生かす授業改善を進めるための研究
 - ・ 学力向上連絡協議会
アクティブ・ラーニングの視点から生徒の主体性を生かす授業改善を進めるための協議

ウ オールふくしまリーダー育成プロジェクト

- 対象 県立高等学校1・2年生
- 実施内容
 - (ア) 1年生対象 2泊3日の以下の内容の学習合宿を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。
 - ・ 教員による入試問題研究講座（国語・数学・英語）
 - ・ 予備校講師等による難関大合格に向けたハイレベル講座（国語・数学・英語）
 - ・ 生徒によるグループ協議とプレゼンテーション等
 - ・ 社会人等による講演会等

- ・大学生との交流会、パネルディスカッション等
- (イ) 2年生対象：2日間の地区別学習セミナーを県内4会場で開催（延べ8日間開催）
 - ・教員による入試問題研究講座（国語・数学・英語）
 - ・大学教授・予備校講師等による講座
 - ・生徒によるグループ協議等
- (2) 教職員現職教育計画に基づいて、各種研修会や講習会を開催し、教職員の職責にふさわしい資質・能力の向上に努めるとともに、社会の変化や時代の進展に対応した実践的指導力を習得させるため、各種の研修等を実施した。
- (3) 多様化した生徒の心の問題の解決のために、ピュアハートサポートプロジェクトとしてカウンセリング等の各種研修会を開催し、教員の資質向上に努めた。さらに、教育相談専門研修及び関係機関との連携強化のために各種連絡協議会を開催し、教員の実践的指導力の向上を図った。

第2節 学校管理

1 生徒数と教職員数

(1) 県立高等学校の推移

区分		年度										元
		22	23	24	25	26	27	28	29	30		
全日制	本校	83	83	83	83	83	84	84	79	79	79	
	分校	5	5	5	5	5	5	5	3	2	2	
定時制	独立	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	併置	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	計	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
	分校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(注)募集基準として学校数を算定(課程の変更、募集停止を実施した場合、2年以上の生徒が在籍しても学校数に含めない)。

(2) 中学校卒業者の進学状況

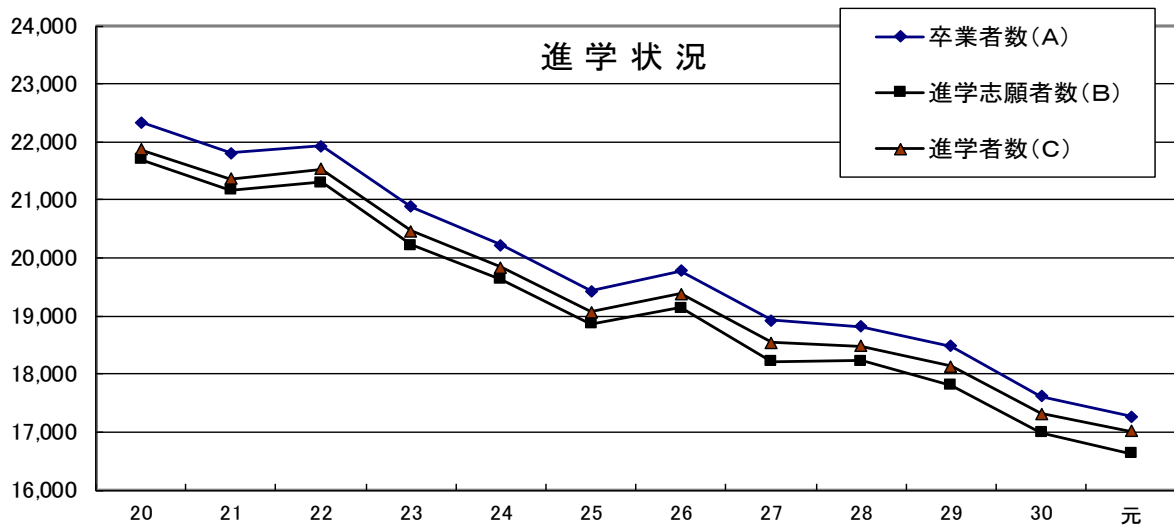
区分	年度											
	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
卒業生(A)	22,333	21,807	21,930	20,887	20,220	19,427	19,782	18,929	18,824	18,482	17,622	17,276
進学希望者数(B)	21,704	21,176	21,305	20,219	19,659	18,873	19,150	18,215	18,232	17,817	16,990	16,638
進学者数(C)	21,873	21,371	21,529	20,467	19,835	19,072	19,388	18,548	18,487	18,130	17,314	17,019
進学志願率(B/A)	97.2%	97.1%	97.2%	96.8%	97.2%	97.1%	96.8%	96.2%	96.9%	96.4%	96.4%	96.3%
進学率(C/A)	97.9%	98.0%	98.2%	98.0%	98.1%	98.2%	98.0%	98.0%	98.2%	98.1%	98.3%	98.5%
入学率(C/B)	100.8%	100.9%	101.1%	101.2%	100.9%	101.1%	101.2%	101.8%	101.4%	101.8%	101.9%	102.3%

(注)進学とは中学校卒業者のうち県内外を問わず、高校の全日制、定時制、通信制、別科、高専及び特別支援学校高等部へ進学したことをいう(就職者を含む)。進学志願者数には高校の通信制課程志願者は含まれない。

中学校卒業者数は前年度より346名減少し、進学率は前年度より0.2ポイント上昇、入学率は0.4ポイント上昇した。令和元年度の進学者の内訳は次のとおりである。

高等学校全日制	15,885名(93.3%)
高等学校定時制	272名(1.6%)
高等学校通信制	481名(2.8%)
高等学校別科	0名(0.0%)
高等専門学校	216名(1.3%)
特別支援学校高等部	165名(1.0%)

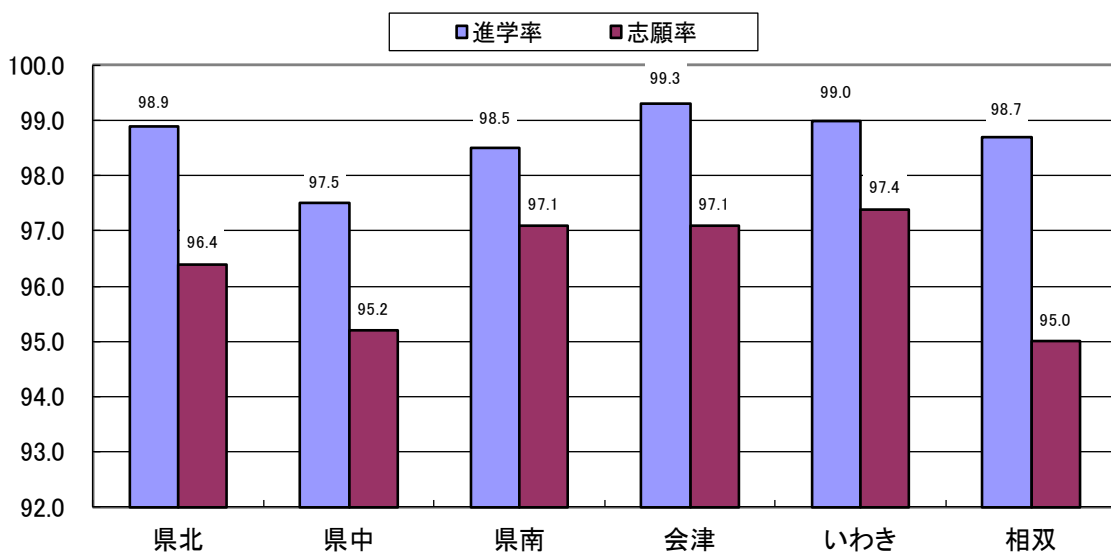
ア 中学校卒業者の進学状況の推移、進学率の推移



○高校進学率 (%)

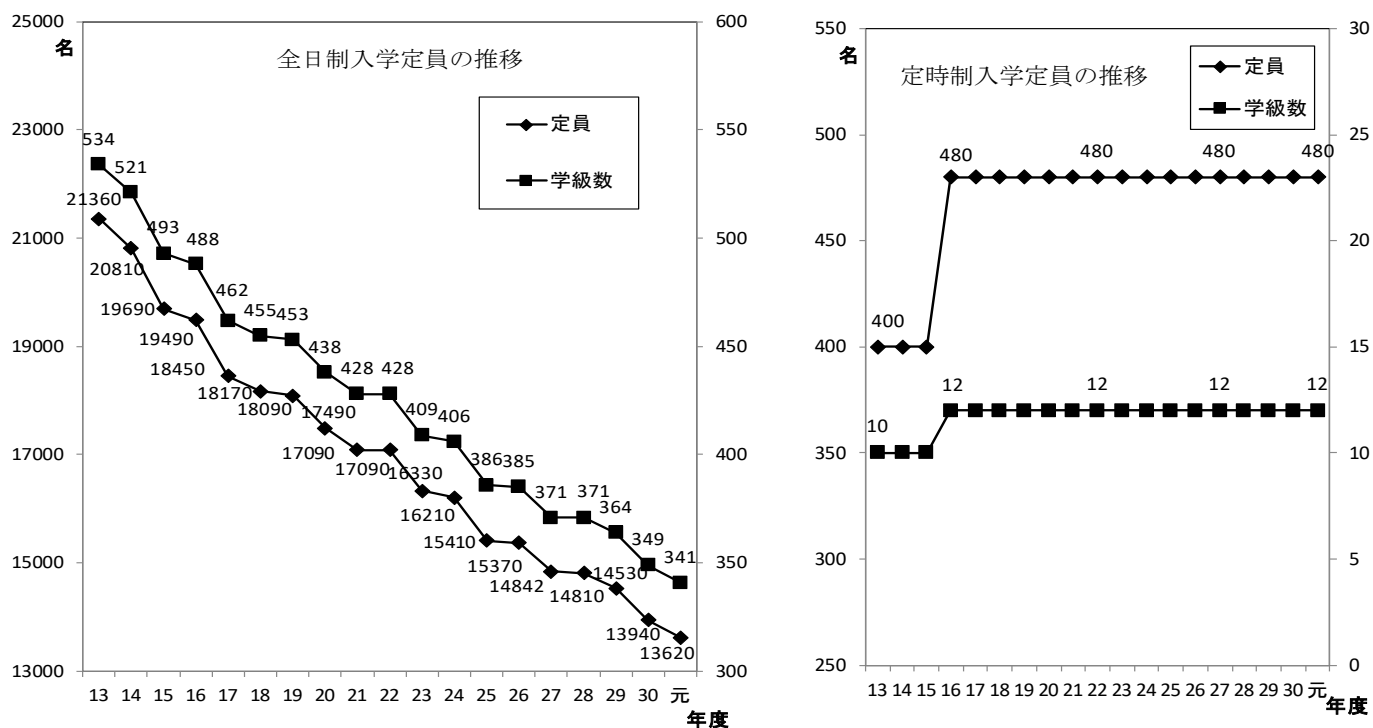
年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
全国	97.0	96.9	97.0	97.3	97.5	97.6	97.7	97.7	97.8	97.9	98.0	98.2	98.3	98.4	98.4	98.5	98.7	98.8	98.8	98.8
本県	96.3	96.0	96.6	96.9	97.5	97.4	97.8	97.7	97.9	98.0	98.2	98.0	98.1	98.2	98.0	98.0	98.2	98.1	98.3	98.5

イ 地域別高校志願率・進学率



(3) 県立高等学校入学定員の推移

ア 全日制入学定員並びに定時制入学定員の推移



イ 学級編成基準

学科の区分	全日制	定時制	学科の区分	全日制	定時制
普通科	35, 40	40	国際文化に関する学科	40	-
農業に関する学科	40	-	英語に関する学科	40	-
工業に関する学科	40	40	体育に関する学科	40	-
商業に関する学科	40	-	美術に関する学科	40	-
家庭に関する学科	40	-	国際科学に関する学科	40	-
水産に関する学科	40	-	総合学科	40	-
理数に関する学科	40	-	国際・スポーツに関する学科	40	-
文理に関する学科	40	-			

(4) 県立高等学校全日制課程入学状況の推移

年度	中学校卒業生数	入学定員		志願者数		志願倍率	入学者数	
	A	B定員	B/A (%)	C志願者数	C/A (%)	C/B (%)	D入学者数	D/C (%)
22	21,930	17,090	77.9	18,996	86.6	111	16,599	87.4
23	20,887	16,330	78.2	17,725	84.9	109	15,460	87.2
24	20,220	16,210	80.2	16,961	83.9	105	15,090	89.0
25	19,427	15,410	79.3	16,231	83.5	105	14,307	88.1
26	19,782	15,370	77.7	16,589	83.9	108	14,421	86.9
27	18,929	14,842	78.4	15,716	83.0	106	13,961	88.8
28	18,824	14,810	78.7	15,598	82.9	105	13,945	89.4
29	18,482	14,530	78.6	15,213	82.3	105	13,478	88.6
30	17,622	13,940	79.1	14,439	81.9	104	12,839	88.9
元	17,276	13,620	78.8	13,855	80.2	102	12,426	89.7

(5) 県立高等学校生徒数（令和元. 5. 1 現在）

学科の区分		課程	全日制	定時制			専攻科	合計	通信制
				学年制	単位制	計			
普通科	男		8,781	120	294	414		9,195	528
	女		9,928	89	289	378		10,306	517
	計		18,709	209	583	792		19,501	1,045
農業に関する学科	男		1,348					1,348	
	女		1,423					1,423	
	計		2,771					2,771	
工業に関する学科	男		5,207	52		52		5,259	
	女		579	4		4		583	
	計		5,786	56		56		5,842	
商業に関する学科	男		1,527					1,527	
	女		2,789					2,789	
	計		4,316					4,316	
家庭に関する学科	男		17					17	
	女		41					41	
	計		58					58	
水産に関する学科	男		320				41	361	
	女		75				1	76	
	計		395				42	437	
理数に関する学科	男		202					202	
	女		180					180	
	計		382					382	
文理に関する学科	男		323					323	
	女		563					563	
	計		886					886	
国際文化に関する学科	男		23					23	
	女		101					101	
	計		124					124	
国際・スポーツに関する学科	男		0					0	
	女		0					0	
	計		0					0	
国際科学に関する学科	男		125					125	
	女		474					474	
	計		599					599	
英語に関する学科	男		37					37	
	女		79					79	
	計		116					116	
体育に関する学科	男		94					94	
	女		21					21	
	計		115					115	
美術に関する学科	男		14					14	
	女		104					104	
	計		118					118	
総合学科	男		1,480					1,480	
	女		2,220					2,220	
	計		3,700					3,700	
合計	男		19,498	172	294	466	41	20,005	528
	女		18,577	93	289	382	1	18,960	517
	計		38,075	265	583	848	42	38,965	1,045

(6) 県立高等学校通信制課程入学者、卒業者の推移

区分	学校	年度											
		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
入学者	安積第二高校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	あさか開成高校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	郡山萌世高校	262	278	290	216	197	152	133	124	99	87	71	86
	計	262	278	290	216	197	152	133	124	99	87	71	86

区分	学校	年度											
		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
卒業者	安積第二高校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	あさか開成高校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	郡山萌世高校	200	218	228	260	223	231	192	155	158	122	121	120
	計	200	218	228	260	223	231	192	155	158	122	121	120

(7) 県立高等学校教職員定数の推移

区分	種別	高 等 学 校																					
		課程	全 日 制 ・ 定 時 制										通 信 制										
	職種		年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
教員	校長		85	85	85	85	85	86	86	81	81	81											
	教諭等		3617	3523	3446	3351	3312	3223	3218	3167	3116	3047	37	37	37	36	36	36	36	34	33	28	
	養護教員		113	110	110	109	106	106	105	102	100	98											
	補充教員		148	148	144	157	153	153	145	137	131	127											
	充指導主事		34	24	23	23	23	23	23	23	23	22											
	寄宿舎指導員		5	5	5	3	3	5	6	7	8	10											
	実習助手		330	330	329	326	326	323	322	320	314	314											
	計		4332	4225	4142	4054	4008	3919	3905	3837	3773	3699	37	37	37	36	36	36	36	34	33	28	
その他の職員	事務職員		262	257	256	251	249	245	247	240	232	228	6	6	6	6	6	6	6	6	6	4	
	技能員																						
	学校司書		62	58	57	55	53	53	53	53	52	52											
	用務員		54	53	52	49	48	45	41	40	39	42											
	ボイラー技師		14	11	10	11	10	7	6	6	5	6											
	栄養士		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4											
	調理給食員		4	5	4	4	3	3	3	3	3	3											
計		138	131	127	123	118	112	107	106	103	107												
練習船	技能職員		9	9	9	9	9	9	9	9	9												
	その他の職員		13	13	13	13	13	13	13	13	13												
	計		22	22	22	22	22	22	22	22	22												
合計		4754	4635	4547	4450	4397	4298	4281	4205	4130	4056	43	43	43	42	42	42	42	40	39	32		

2 教職員人事・任用

(1) 人事異動の概要

平成 30 年度の高等学校教職員定数（補充教員は含まない）は、前年度比 70 人減の 4,038 人となった。このうち、教諭等は、前年度比 52 人減の 3,149 人である。

また、特別支援学校については、前年度比 35 人増の 1,658 人となった。このうち教諭等は前年度比 34 人増の 1,416 人となった。

ア 新採用(教諭)について

令和元年度は 42 名(国語 4 名・地理歴史 9 名・数学 1 名・理科 2 名・保健体育 3 名・音楽 2 名・美術 2 名・書道 1 名・英語 2 名・家庭 2 名・農業 5 名・工業 6 名・商業 2 名・水産 1 名)の新採用教員を県立高等学校に配置した。

令和元年度に実施した令和 2 年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験は、採用予定者数 40 名程度に対して、高等学校志願者は前年度比 119 名減の 478 名であった。

一次及び二次選考試験の結果、名簿登載者数は 45 名(前年度比 1 名増)となり、大学院猶予者 3 名を除く 42 名(前年度同数)が新採用教員として配置されることになる。

イ 校長への昇任

県立学校の校長への昇任は、その職責の重要性にかんがみ、資格・人物・指導力等を十分考慮のうえ、教頭から 9 名、教育庁関係から現場復帰による 10 名の登用をみた。これらの管理職は、できる限り自分の専門性をいかせるよう適材を適所に配置し、適正な学校管理運営をするよう努めた。

ウ 異動について

本年度も昨年度同様の方針にのっとり、同一校永年勤務者、採用後引き続き同一校に 3 年以上勤務する者等を含めて 456 名の教諭等の異動が実現した。

経験豊かな教員の転出が促進されたこととともに、定時制・通信制・及び特別支援学校と全日制高校との交流が進んだことは、教育組織の強化充実に資するところであり、全県的に教育水準及び教育効果の向上に役立つものと期待される。

(2) 平成 30 年度県立学校教員異動基準

I 一般基準

- (ア) 過員解消のための異動は、全県的視野から優先的に取り扱う。
- (イ) 教育課程の適正な運営を期するため、教員組織の均衡化を図り主免許教科を担当させるように努める。
- (ウ) 優秀な人材の定時制(夜間)・通信制・分校及びへき地校への転入を図るとともに、その者が相当年数(3 年以上)勤務した場合の転出については、特に考慮する。
- (エ) 同一校には、原則として、最低 3 年は勤務するものとする。

(オ) 2 親等以内の者(姻族を含む。)は、原則として、同一校勤務を避ける。

(カ) 教員人事公募選考制度については、別に定める。

II 異動基準

ア 勤続年数による基準

次に該当する者は、異動の対象とする。

(ア) 採用後引き続き同一校に 3 年以上勤務した者(以下「初任者」という。)

(イ) 異動 2 校目において 3 年以上勤務した者(以下「若年者」という。)

ただし、(ア)、(イ)いずれの場合も、原則として 3 年以上 5 年以内で異動させるものとする。

(「若年者」については平成 21 年度以降の採用者から適用する。)

(ウ) 同一校に 8 年以上勤務した者

(以下「永年者」という。)

ただし、中通り地域の 4 校(湖南・埴工業・修明・修明鮫川)、会津地域の 4 校(川口・田島・南会津・只見)及び浜通り地域の 2 校(浪江津島・相馬農業飯館)に 3 年以上勤務した場合は、永年とみなすことができる。

イ 地域、地区及び学校群による基準

教員の適材適所への配置及び教員組織の均衡化を図るため、県内を中通り、会津、浜通りの 3 地域に分け、各地域に所在する学校を学校規模及び交通の利便性等を考慮して、別表①に定める I・II 群に分類し、以下により異動を促進する。

(ア) 原則として、採用後 20 年以内に 3 地域の学校に勤務するものとする。

(イ) 農業、工業、商業、看護、福祉等を除く教科の教員については、II 群の学校に勤務している者が同一地区内で異動するときは、原則として I 群の学校に勤務するものとする。

ただし、II 群普通系から II 群専門系への異動、II 群専門系勤務者のうち直近の勤務が I 群校の者の II 群普通系への異動は可とする。

なお、相双地区においては II 群普通系内の異動も可とする。

(ウ) 農業、工業、商業、看護、福祉等の教科の教員については、全県的視野から地域間で相互に異動させるものとする。

ウ 平成 20 年度以前の採用者について

平成 30 年度までは次の基準(以下「旧基準」という。)を準用し、下記の(イ) a を満たす者は、上記イ(ア)の規定を満たすものとする。

(ア) 勤続年数による基準

次に該当する者は、異動の対象とする。

a 初任者

b 永年者

(イ) 地区及び学校群による基準

教員組織の均衡化を図るため、県内を県北・県南・会津・いわき・相双の5地区に分け、地区ごとに所在する学校の地理的特殊性等を考慮して、別表②に定めるA・B・C3群に分類し、以下により異動を促進する。

a 原則として次の条件を満たすよう勤務するものとする。

(a) 採用後15年以内に2地区以上の学校に勤務する。

(b) A・B2群の学校に勤務する。ただし、A群については、採用後15年以内とする。

b 県南地区の4校(湖南・塙工業・修明・修明鮫川)、会津地区の4校(川口・田島・南会津・只見)及び相双地区の3校(浪江津島・富岡川内・相馬農業飯館)は、それぞれ1地区とみなす。

c 本宮は平成16年度より県北地区とし、平成16年度以降の転入・在籍者から適用する。

d 群の取扱いの変更は、別表③の適用年度以降に当該校へ転入・在籍した者について適用する。

e 同一学校群内の異動については、次の諸点に留意する。

(a) A群については、原則として、へき地校間、分校間の異動は行わない。

(b) B群については、原則として、同一市内間の異動は行わない。ただし、いわき市及び南相馬市は除く。

(c) C群については同一市内間の異動は行わない。

f 職業に関する学科の教員で、永年者については、全県の視野から地区間で相互に異動することができるものとする。

また、異動後同一校に3年以上勤務した場合は、直近の勤務地区内へ異動することができる。

エ 寄宿舎指導員

原則として2に準ずるが、採用後20年以内に2地域の学校に勤務するものとする。

オ 交流

(ア) 学校種別間の交流

高等学校、特別支援学校及び中学校における教育を充実させるため、県立特別支援学校、市町村公立中学校との交流を促進する。

a 県立特別支援学校との交流は教諭、養護教諭、実習助手、寄宿舎指導員を対象とする。

その期間は、教諭及び実習助手については原則として3年とし、養護教諭及び寄宿舎指導員については原則として3年から8年とする。

b 市町村公立中学校との交流は教諭を対象とし、その期間は原則として2年とする。

(イ) 他県との交流

他県との交流については、別に定める。

別表① 地域・地区・群学校分類表

群		I	II	
地域・地区				
中通り	県北	福島工業(定) 福島北 川俣 梁川 保原 保原(定) 安達 二本松工業 安達東 本宮 福島中央	普通系	福島 橘 福島西 福島東 福島南
			専門系	福島商業 福島明成 福島工業
	県中	安積(御館) 湖南 須賀川 須賀川桐陽 清陵情報 長沼 岩瀬農業 石川 田村 船引 小野 郡山萌世	普通系	安積 安積黎明 郡山東 郡山 あさか開成
			専門系	郡山商業 郡山北工業
	県南	光南 塙工業 修明 修明(鮫川) 白河二	普通系	白河 白河旭
			専門系	白河実業
会津		喜多方 喜多方東 喜多方桐桜 猪苗代 耶麻農業 西会津 大沼 川口 坂下 会津農林 田島 南会津 只見 会津二	普通系	会津 葵 会津学鳳
		会津学鳳中学校	専門系	若松商業 会津工業
浜通り	いわき	いわき総合 いわき光洋 湯本 小名浜 いわき海星 磐城農業 勿来 勿来工業 好間 遠野 四倉 いわき翠の杜	普通系	磐城 磐城桜が丘
			専門系	平工業 平商業
	相双	浪江 浪江(津島) 富岡 双葉翔陽 ふたば未来学園 相馬農業 相馬農業(飯館) 小高産業技術 新地	普通系	双葉 相馬 原町
			専門系	相馬東

~~~~~は、平成29年4月1日から休校になった学校。

\_\_\_\_\_は、令和2年4月1日から休校になった学校。



別表② 地区・群別学校分類表

| 地区                  | 群                                  | A                                            | B                                       | C                                                           | 特別支援学校<br>(A群校扱い)                                                                    |
|---------------------|------------------------------------|----------------------------------------------|-----------------------------------------|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 県北                  |                                    | 福島工業(定) 川俣<br>梁川 保原(定)<br>安達東 福島中央           | 福島商業 福島明成<br>福島北 保原 安達<br>二本松工業 本宮      | 福島 橘 福島工業<br>福島西 福島東<br>福島南                                 | 視覚支援(盲)<br>聴覚支援福島(聾福島)<br>大笹生支援(大笹生養護)<br>須賀川支援医大(須賀川養護医大)                           |
|                     | 県南                                 | 安積(御館) 長沼<br>石川 船引<br>小野 小野(平田)<br>郡山萌世 白河第二 | 須賀川 須賀川桐陽<br>清陵情報 岩瀬農業<br>光南 白河実業<br>田村 | 安積 安積黎明<br>郡山東 郡山商業<br>郡山北工業 郡山<br>あさか開成<br>白河 白河旭          | 聴覚支援(聾)<br>郡山支援(郡山養護)<br>あぶくま支援(あぶくま養護)<br>須賀川支援(須賀川養護)<br>須賀川支援郡山(須賀川養護郡山)<br>たむら支援 |
| 湖南 塙工業 修明<br>修明(鮫川) |                                    | 西郷支援(西郷養護)<br>石川支援(石川養護)<br>石川支援たまかわ(石川養護分校) |                                         |                                                             |                                                                                      |
| 会津                  | 猪苗代 耶麻農業<br>西会津 会津第二               | 喜多方 喜多方東<br>喜多方桐桜<br>大沼 坂下<br>会津農林           | 会津 葵<br>会津学鳳<br>若松商業<br>会津工業            | 聴覚支援会津(聾会津)<br>会津支援(会津養護)<br>会津支援竹田(会津養護竹田)<br>猪苗代支援(猪苗代養護) |                                                                                      |
|                     | 川口 田島<br>南会津 只見                    |                                              |                                         |                                                             |                                                                                      |
|                     | 会津学鳳中学校                            |                                              |                                         |                                                             |                                                                                      |
| いわき                 | いわき海星 磐城農業<br>勿来 勿来工業 遠野<br>いわき翠の杜 | いわき総合<br>いわき光洋 湯本<br>小名浜 好間 四倉               | 磐城 磐城桜が丘<br>平工業 平商業                     | 聴覚支援平(聾平)<br>平支援(平養護)<br>いわき支援(いわき養護)<br>いわき支援くぼた(いわき養護くぼた) |                                                                                      |
| 相双                  | 双葉翔陽 新地                            | 双葉 浪江 富岡<br>相馬農業<br>小高産業技術                   | 相馬 相馬東<br>原町                            | 富岡支援(富岡養護)<br>相馬支援(相馬養護)                                    |                                                                                      |
|                     | 浪江(津島)<br>相馬農業(飯館)                 |                                              |                                         |                                                             |                                                                                      |

.....は、平成29年4月1日から休校になった学校。

.....は、令和2年4月1日から休校になった学校。

別表③

| 高校名   | 群 | 適用年度 | 高校名   | 群 | 適用年度 | 高校名   | 群 | 適用年度 |
|-------|---|------|-------|---|------|-------|---|------|
| 小野    | A | 昭和52 | 白河実業  | B | 昭和61 | 棚倉    | A | 平成10 |
| 福島明成  | B | 昭和56 | 川俣    | A | 平成2  | 東白川農商 | A | 〃    |
| 福島北   | B | 〃    | 福島商業  | B | 〃    | あさか開成 | C | 平成11 |
| いわき海星 | A | 〃    | 梁川    | A | 平成8  | 光南    | B | 〃    |
| 磐城農業  | A | 〃    | 船引    | A | 〃    | 石川    | A | 〃    |
| 勿来工業  | A | 〃    | いわき光洋 | C | 〃    | いわき光洋 | B | 平成16 |
| 双葉翔陽  | A | 〃    | 勿来    | A | 〃    |       |   |      |
| 猪苗代   | A | 昭和58 | 相馬農業  | B | 〃    |       |   |      |

**(3) 教頭複数制実施校(令和元年度実績)**

|        |       |       |         |
|--------|-------|-------|---------|
| 福島     | 橘     | 福島商業  | 福島明成    |
| 福島工業   | 福島西   | 福島東   | 保原      |
| 安積     | 安積黎明  | 郡山東   | 郡山北工    |
| 郡山     | 須賀川   | 清陵情報  | 岩瀬農業    |
| 光南     | 白河    | 白河実業  | 修明      |
| 田村     | 会津    | 葵     | 会津学鳳    |
| 会津工業   | 喜多方桐桜 | 磐城    | 磐城桜が丘   |
| 平工業    | いわき総合 | 湯本    | ふたば未来学園 |
| 小高産業技術 | 郡山萌世  |       |         |
| 視覚支援   | 聴覚支援  | 大笹生支援 | 郡山支援    |
| あぶくま支援 | 須賀川支援 | 西郷支援  | 石川支援    |
| たむら支援  | 会津支援  | 平支援   | いわき支援   |
| 富岡支援   |       |       |         |

**3 学校の設置及び統廃合****- 公立高等学校の設置・廃止等(令和2年度) -****(1) 学校の新設・廃止等**

- ア 統合に伴う学校廃止  
なし
- イ 統合に伴う学校新設  
なし
- ウ ふたば未来学園高等学校開校に伴い、避難区域にある  
高等学校の生徒募集休止による休校 全日制6校  
双葉高等学校、浪江高等学校、浪江高等学校津島校、  
富岡高等学校、双葉翔陽高等学校、相馬農業高等学校飯館校

**(2) 学級増**

なし

**(3) 学級減**

全日制6校6学級

| 課程  | 学校名  | 内 容      |
|-----|------|----------|
| 全日制 | 福島東  | 普通科1学級   |
|     | 安達   | 普通科1学級   |
|     | 安積   | 普通科1学級   |
|     | 清陵情報 | 情報電子科1学級 |
|     | 田村   | 普通科1学級   |
|     | 只見   | 普通科1学級   |

**(4) 募集停止**

全日制4校4学級

| 課程  | 学校名  | 内 容        |
|-----|------|------------|
| 全日制 | 川俣   | 機械科1学級     |
|     | 安積御館 | 普通科1学級     |
|     | 修明鮫川 | 普通科1学級     |
|     | 猪苗代  | 観光ビジネス科1学級 |

**(5) 35人学級編制**

全日制1校2学級

| 課程  | 学校名 | 内 容    |
|-----|-----|--------|
| 全日制 | 南会津 | 普通科2学級 |

**(6) 課程廃止**

なし

**(7) 学科転換・学科改編・学科新設**

なし

**(8) 学科名変更**

なし

**(9) 校名変更**

なし

**(10) 連携型中高一貫教育校**

| 課程  | 学校名     | 連携中学校                                                   |
|-----|---------|---------------------------------------------------------|
| 全日制 | 埴工業     | 埴                                                       |
|     | 田島      | 田島、荒海                                                   |
|     | ふたば未来学園 | 浪江、浪江東、津島、<br>なみえ創成、葛尾、双葉、<br>大熊、富岡第一、富岡第二、<br>川内、檜葉、広野 |
|     | 相馬東     | 中村第一、中村第二、<br>向陽、磯部                                     |

**(11) 併設型中高一貫教育校**

- 会津学鳳高等学校(会津学鳳中学校)
- ふたば未来学園高等学校(ふたば未来学園中学校)

**(12) 定時制・通信制**

変更なし

**(13) 専攻科**

変更なし

## 第3節 学校教育

### 1 概要

#### (1) 指導行政の基本方針

生徒の能力・適性、進路・関心等を十分考慮し、地域や学校の実態に応じた教育指導の充実を図りながら、人間性豊かな生徒の育成を目指して、学校教育活動が活発に展開されるよう次の重点目標を設定し、その達成に努めた。

ア 生徒の実態等を踏まえ、各学校が主体性をもって、多様な教育課程を編成し、特色ある学校づくりができるよう指導・援助する。

イ 指導内容の精選と構造化に努め、言語活動の充実と生徒のよい点を積極的に評価するなどの評価の改善を進めることにより、生徒一人一人の個性を生かす指導方法の工夫・改善が図られるよう指導・援助する。

ウ 生徒指導の組織・体制を点検するとともに、教職員の共通理解を基盤として、中学校や家庭との連携を深めながら、生徒理解に基づいた指導が展開されるよう、指導・援助する。

エ 生徒の学校生活への適応を促し、中途退学者の減少及び問題行動・生徒事故の未然防止が図られるよう指導・援助する。

オ 教職員の資質と指導力の向上に努める。

カ 勤労観・職業観の育成にかかわる体験的な学習及び産業教育、情報教育の推進を図る。

#### (2) 指導組織

高校教育課長を中心に、主幹、主任指導主事及び指導主事が一体となって、それぞれの分掌に従い、企画・運営・指導助言に当たった。

また、学校教育指導委員の指名については、県立高校教諭及び養護教諭39名を指名し、各教科等の指導活動の充実・強化を図った。

#### (3) 学校教育指導の重点

前記の基本方針に基づき、指導の重点を次のように設定し、指導の充実を図った。

ア 教育課程の適切な運営と指導法の改善を図る。

(ア) 教育課程の適正な実施について、校長会、教頭会において周知徹底を図った。

(イ) 福島県高等学校教育課程講習会において、新高等学校学習指導要領について、その趣旨の徹底を図るとともに、教育課程実施に伴う諸問題について研究協議を行った。

イ 学力向上を図る。

「アクティブ・ラーニングによる学力向上推進事業」として、生徒の進路希望実現を目指した各学校の学力向上やキャリア教育に関する取組の支援、授業改善や進学指導力向上のための研究会などを実施した。また、将来社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指し、難関大学進学への意識、意欲の高い生徒を対象とした学習セミナーを実施した。さらに、対象校の進路指導担当者を出席者とする学力向上連絡協議会を実施した。

ウ 生徒指導の充実を図る。

(ア) 各種研修会、学校訪問等の指導を通して、校内における指導体制の確立を図るとともに、教職員の共通理解を図り、同一歩調による生徒指導の充実に努めた。

(イ) 生徒指導担当者研修会を開催し、生徒の多様化に即した生徒指導の在り方、開かれた生徒指導の在り方について研究協議を行った。

(ウ) 学校における教育相談体制の確立と教育相談活動の改善・充実を図った。

(エ) スクールカウンセラー活用事業として、生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、いじめや不登校等生徒の問題行動の解決に当たった。

エ 進路指導の充実を図る。

各種の研修会や講座を通して、下記事項の徹底に努めた。

(ア) キャリア教育の観点より低学年からの計画的・組織的な進路指導を通し進路意識の高揚に努めること。

(イ) ホームルーム活動における進路指導の充実に努めること。

(ウ) 面談や諸調査・諸検査を通して、生徒の能力・適性・進路の希望等を的確に把握すること。

(エ) 生徒の自己理解の促進に努めること。

(オ) 進路指導室の整備及び進路に関する情報や資料の収集に努めるとともに、その効果的な活用を図ること。

(カ) 組織的・計画的な進路相談の充実に努めること。

(キ) きめ細かな就職指導の充実・徹底に努めること。

オ 産業教育の充実を図る。

産業教育の改善・充実を図るため、施設・設備の充実及び情報教育の推進に努めた。

(ア) 体験入学の内容の質的改善・充実に努めた。

(イ) 情報教育の充実のため、教員の研修に努めた。

(ウ) 産業教育関係機関との連携により、産業教育の振興に努めた。

#### (4) 教職員の資質の向上と学校管理運営の充実

ア 現職教育の充実

(ア) 校内における研修体制の改善・充実を図った。

(イ) 研修会、講習会等への積極的な参加を促進し、指導力の向上を図った。

(ウ) 自己研修の充実により、教職員の能力が効果的に発揮されるように努めた。

イ 学校管理運営の適正化

(ア) 学校経営・運営ビジョンを定め、その達成度を客観的に評価し、その結果を公表するように努めた。

(イ) 管理者が学校管理運営について積極的に指導助言を行うよう努めた。

(ウ) 諸表簿の整理と保管、設備・備品の管理と活用については、適正に行われるように努めた。

(エ) 学校事務の責任分担を明確にし、正確、敏速、円滑に処理するよう努めた。

(オ) 各種調査報告について、厳正、的確に作成し、期限の厳守に努めた。

#### ウ 勤務体制の確立

教職員の勤務内容を明確にし、その実績について客観的に評価できるようにした。

#### エ 使命感の高揚

(ア) 教育公務員としての使命感に徹し、規律と責任ある体制を整え、教育能率の向上に努めた。

(イ) 教育公務員としての立場を自覚するとともに、服務倫理委員会を活用して事故防止に努め、社会的信用を失墜させることのないようにした。

(ウ) 絶えず自己研修に努め、豊かな知性を養い、指導力を高め、職責を十分果たせるようにした。

### (5) 教育環境の整備充実

#### ア 学習環境の整備充実

(ア) 環境整備については、方針を確立し、年次計画による充実を図った。

(イ) 学習環境を整備し、学習意欲の高揚を図った。

(ウ) 施設・設備の管理と運営の適正化を図った。

#### イ 学校事故防止の徹底

(ア) 安全教育の計画的実施と、事故防止を配慮した環境の整備改善に努めた。

(イ) 学校事故、教職員事故の防止については、適切な対策を講じ、事故の絶無を期した。

(ウ) 指導・管理の充実を図るため、関係機関、団体等との連携を密にして協力体制の確立に努めた。

### (6) 県立高等学校入学者選抜

#### ア 基本方針

令和2年度福島県立高等学校入学者選抜における基本方針

##### (ア) 特色選抜

特色選抜は、各高等学校が自校の特色に応じてどのような受験生に志願してほしいかを選抜方法と併せて明示し、受験生は、それに応じて自分の志願したい高等学校を主体的に選択し出願できる選抜とする。選抜に当たっては、受験生の個性や学ぶ意欲を重視するとともに、自校の特色に応じた選抜となるよう選抜資料を活用し、各高等学校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜するものとする。

なお、特色選抜の性格をより明確にするため、各高等学校の「志願してほしい生徒像」については、より具体的な記載を可能とする。

a 選抜に当たっては、志願理由書の記載内容、調査書の審査結果、学力検査の成績及び特色選抜に係る面接（以下「特色面接」という。）の結果を資料とする。なお、各高等学校の判断により、学校の特色や学科の特性に応じて、小論文（又は作文）、実技等（以下「特色検査」という。）の結果を選抜資料に加えることができるものとする。

b 特色選抜においては、各高等学校が自校の教育目標にふさわしい入学者を選抜するため、受験生を多面的・多元的に評価するための資料の一つとして特色面

接の結果及び特色検査を実施した場合にはその結果を積極的に活用するものとする。

c 特色選抜の定員枠については、県教育委員会が定める範囲の中で、各高等学校が、その特色や学科の特性に応じて設定するものとする。

d 合否の判定に当たっては、調査書の審査結果、学力検査の成績、特色面接の結果及び特色検査を実施した場合にはその結果の比重を、県教育委員会が定めた範囲内で各高等学校がその特色や学科の特性に応じて定めるものとする。

##### (イ) 一般選抜

一般選抜は、中学校における学習活動の成果を総合的にみる選抜とする。選抜に当たっては、学力検査の成績、調査書の審査結果を資料とし、さらに一般選抜に係る面接（以下「一般面接」という。）を実施する高等学校においては一般面接の結果を併せて資料とし、各学校の特色、学科の特性等に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜するものとする。

a 特定の教科の学力検査の配点の比重を変える傾斜配点については、各学校の特色・学科の特性を考慮し、各高等学校の判断により実施することができるものとする。

また、志願者の自己申告による傾斜配点についても、各高等学校の判断により実施できるものとする。

b 一般選抜の合否判定に当たっては、学力検査と調査書の成績の比重を原則として同等とする。

ただし、各高等学校が自校の特色化を図るために必要と判断する場合には、学力検査と調査書の成績の比重を変えることができるものとする。

c 一般面接については、各高等学校の判断により実施できるものとする。

##### (ウ) 後期選抜

後期選抜は、前期選抜及び連携型中高一貫教育に係る入学者選抜（以下「連携型選抜」という。）により定員（併設型中高一貫教育校における高等学校においては、当該高等学校に係る併設型中高一貫教育校における中学校から当該高等学校への入学を志願する者の数を除いた数とする。）を充足しない高等学校において実施するものとし、前期選抜及び連携型選抜の受験の有無にかかわらず出願できる選抜とする。

選抜に当たっては、調査書の審査結果、面接の結果及び小論文（又は作文）の結果を資料として、各高等学校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜するものとする。

なお、前期選抜又は連携型選抜に合格した者は出願できないものとする。

a 選抜に当たっては、調査書の成績とともに、面接の結果及び小論文（又は作文）の結果を十分に精査する。

b 前期選抜に係る学力検査の成績は、後期選抜の資料

とはしないものとする。

- c 後期選抜における面接は、受験生の学ぶ意欲をみる内容とともに、中学校における学習活動の成果を問う内容を含むことができるものとする。

なお、併設型中高一貫教育校における中学校から当該中学校に係る併設型中高一貫教育校における高等学校への入学を志願する者については、各選抜に出願することはできないものとする。

(エ) 連携型選抜

連携型中高一貫教育を実施する高等学校（以下「連携型高等学校」という。）において、連携型中高一貫教育を実施する中学校（以下「連携型中学校」という。）から目的意識や意欲のある生徒の入学を促進し、6年間を通して生徒一人一人の個性をより重視した教育の実現を図るため、連携型選抜を実施する。

- a 募集定員枠については、別に公告する募集定員の30%を下限とし、各連携型高等学校が学校・学科の特色や地域の特性に応じて設定する。

ただし、定員枠については、当該高等学校長はあらかじめ県教育委員会と協議するものとする。

また、特色選抜の募集定員枠は、これとは別に設定するものとし、併設型中高一貫教育校における高等学校においては、これらの割合について、別に公告する募集定員から当該高等学校に係る併設型中高一貫教育校における中学校の第3学年に在学する者（11月1日現在）の数を除いた数に対する割合とする。

なお、合否の判定に当たっては、志願者の動向や各学校・学科の実態に応じて、弾力的に対応することができる。

- b 連携型高等学校の連携型選抜に出願することができる者は、当該高等学校と連携している中学校を卒業する見込みの者とする。

なお、連携型中学校を卒業する見込みの者は、当該中学校と連携している高等学校の特色選抜へ出願することはできない。

- c 受験生の個性や学ぶ意欲をみるとともに、連携している内容に応じた選抜となるよう配慮し、各連携型高等学校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜するものとする。

- d 志願者全員に学力検査を課す。学力検査を実施する教科は、国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の5教科とし、学力検査の問題作成や配点については、前期選抜と同様とする。

- e 選抜に当たっては、中学校長から提出された調査書の審査結果、学力検査の成績及び連携型選抜に係る面接（以下「連携型面接」という。）の結果を資料とする。

なお、各連携型高等学校長の判断により、各連携型高等学校が連携している教育課程に基づいた内容に応じた選抜方法に加え、学校の特色や学科の特性等に関

する内容に応じた選抜方法（以下これらを「連携型検査」という。）を選択して実施した場合には、それらの結果を併せて資料として選抜を行うことができるものとする。

- f 合否の判定に当たっては、調査書の審査結果、学力検査の成績、連携型面接の結果及び連携型検査を実施した場合にはその結果の比重を、県教育委員会が定めた範囲内で各高等学校がその特色や学科の特性に応じて定めるものとする。

- g 連携型選抜の志願者は、出願した高等学校において一般選抜にも出願できるものとするが、その場合、各連携型高等学校は、連携型選抜、一般選抜の順位に合否判定を行う。

- h 連携型選抜に出願する者は、特色選抜との併願はできない。

イ 入学者選抜関係日程

6月7日 第1回県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議

7月11日 第2回県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議

8月29日 第3回県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議

8月29日 県立中学校・高等学校入学者選抜方法の改善等に関する調査研究報告書提出

10月4日～10月11日

県北・県中・県南・会津・南会津・いわき・相双の7地区で入学者選抜実施要綱説明会実施

10月18日 令和2年度入学者募集定員決定

(7) 前期選抜関係日程

2月6日～2月12日 出願書類受付

2月13日～2月17日 出願先変更

2月18日～2月19日 調査書提出

3月4日 学力検査

3月4日～3月6日 面接等

3月11日 追検査等

3月16日 合格者発表

(イ) 後期選抜関係日程

3月17日～3月18日 出願書類受付

3月19日 出願先変更

3月24日 面接等

3月25日 合格者発表

(ウ) 連携型選抜関係日程

2月6日～2月12日 出願書類受付

2月13日～2月17日 出願先変更

2月18日～2月19日 調査書提出

3月4日 学力検査

3月4日～3月6日 面接等

3月11日 追検査等

3月16日 合格者発表

(エ) 通信制の課程選抜日程

2月6日～3月27日 出願書類受付

4月3日 合格者発表(個人宛通知)

ウ ふたば未来学園高等学校の入学選抜

平成27年度入学選抜において、双葉高等学校(普通科)、浪江高等学校(普通科)、浪江高等学校津島校(普通科)、富岡高等学校(国際・スポーツ科)、双葉翔陽高等学校(総合学科)を募集停止とし、平成27年4月にふたば未来学園高等学校を開校した。令和2年度連携型選抜においては、次の(ア)～(ウ)に該当する者を出願資格を有する者とした。

(ア) 出願時にJFAアカデミー福島又は双葉地区未来創造型リーダー育成構想(新双葉地区教育構想)ピクトリープログラムに参加している者

(イ) 次の双葉郡の中学校に在籍している者

双葉郡浪江町立浪江中学校

双葉郡浪江町立浪江東中学校

双葉郡浪江町立津島中学校

双葉郡浪江町立なみえ創成中学校

双葉郡葛尾村立葛尾中学校

双葉郡双葉町立双葉中学校

双葉郡大熊町立大熊中学校

双葉郡富岡町立富岡第一中学校

双葉郡富岡町立富岡第二中学校

双葉郡川内村立川内中学校

双葉郡檜葉町立檜葉中学校

双葉郡広野町立広野中学校

(ウ) ふたば未来学園高等学校との連携型中高一貫教育を実施している中学校に在籍している者以外で、東日本大震災が発生した時に、双葉郡内の小学校に在籍していた者又は双葉郡内に保護者が居住していた者で、中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校若しくは中等教育学校の前期課程を令和2年3月に卒業見込又は修了見込の者

エ 志願者数・合格者数

◇各選抜ごとの集計

※「普通科等」には、普通科、理数科、数理科学科、文理科、国際文化科、英語科、体育科、デザイン科学科、国際科学科が含まれる。

(ア) 特色選抜

《全日制》

| 学科   | 入学定員   | 特色選抜定員 | 志願者数  | 志願倍率 | 合格者数  |
|------|--------|--------|-------|------|-------|
| 普通科等 | 7,230  | 1,363  | 1,139 | 0.84 | 918   |
| 農業   | 1,040  | 232    | 146   | 0.63 | 126   |
| 水産   | 160    | 64     | 25    | 0.39 | 18    |
| 工業   | 2,000  | 495    | 346   | 0.70 | 307   |
| 商業   | 1,440  | 463    | 437   | 0.94 | 381   |
| 家庭   | 40     | 14     | 1     | 0.07 | 0     |
| 総合   | 1,320  | 381    | 371   | 0.97 | 288   |
| 計    | 13,230 | 3,012  | 2,465 | 0.82 | 2,038 |

《定時制》

| 学科 | 入学定員 | 特色選抜定員 | 志願者数 | 志願倍率 | 合格者数 |
|----|------|--------|------|------|------|
| 普通 | 440  | 92     | 23   | 0.25 | 7    |
| 工業 | 40   | 8      | 2    | 0.25 | 1    |
| 計  | 480  | 100    | 25   | 0.25 | 8    |

## (イ) 連携型中高一貫教育に係る入学者選抜（連携型選抜）

| 学科 | 入学定員 | 連携型選抜<br>定員 | 志願者数 | 志願<br>倍率 | 合格内定者数 |
|----|------|-------------|------|----------|--------|
| 普通 | 80   | 32          | 27   | 0.84     | 26     |
| 工業 | 80   | 32          | 13   | 0.41     | 13     |
| 総合 | 320  | 124         | 155  | 1.25     | 123    |
| 計  | 480  | 188         | 195  | 1.04     | 162    |

## (ウ) 前期選抜、連携型選抜

## 《全日制》

| 学科   | 入学定員   | 志願者数   | 志願<br>倍率 | 合格者数   |
|------|--------|--------|----------|--------|
| 普通科等 | 7,230  | 7,204  | 1.00     | 6,383  |
| 農業   | 1,040  | 850    | 0.82     | 822    |
| 水産   | 160    | 145    | 0.91     | 135    |
| 工業   | 2,000  | 1,862  | 0.93     | 1,751  |
| 商業   | 1,440  | 1,386  | 0.96     | 1,286  |
| 家庭   | 40     | 12     | 0.30     | 11     |
| 総合   | 1,320  | 1,022  | 0.77     | 1,080  |
| 計    | 13,230 | 12,481 | 0.95     | 11,468 |

## 《定時制》

| 学科 | 入学定員 | 志願者数 | 志願<br>倍率 | 合格者数 |
|----|------|------|----------|------|
| 普通 | 440  | 225  | 0.51     | 187  |
| 工業 | 40   | 12   | 0.30     | 12   |
| 計  | 480  | 237  | 0.49     | 199  |

## (エ) 外国人生徒等に係る特別枠選抜

| 学校名   | 学科名  | 定員  | 志願者数 | 合格者数 |
|-------|------|-----|------|------|
| 福島北   | 総合   | 若干名 | 0    | 0    |
| 福島南   | 国際文化 | 若干名 | 1    | 1    |
| あさか開成 | 国際科学 | 若干名 | 1    | 1    |
| 光南    | 総合   | 若干名 | 0    | 0    |
| 会津学鳳  | 総合   | 若干名 | 0    | 0    |
| 湯本    | 普通   | 若干名 | 0    | 0    |
| 相馬東   | 総合   | 若干名 | 1    | 1    |

## (オ) 後期選抜

## 《全日制》

| 学科   | 入学定員  | 志願者数 | 合格者数 |
|------|-------|------|------|
| 普通科等 | 847   | 168  | 148  |
| 農 業  | 218   | 28   | 23   |
| 水 産  | 25    | 8    | 4    |
| 工 業  | 249   | 23   | 21   |
| 商 業  | 154   | 19   | 16   |
| 家 庭  | 29    | 1    | 1    |
| 総 合  | 149   | 16   | 13   |
| 計    | 1,671 | 263  | 226  |

## 《定時制》

| 学科  | 入学定員 | 志願者数 | 合格者数 |
|-----|------|------|------|
| 普 通 | 253  | 37   | 24   |
| 工 業 | 28   | 2    | 0    |
| 計   | 281  | 39   | 24   |

## ◇後期選抜実施後の最終集計

※「普通科等」には、普通科、理数科、数理科学科、文理科、国際文化科、英語科、体育科、デザイン科学科、国際科学科が含まれる。

## 《全日制》

| 学科   | 入学定員   | 特色選抜<br>合格者数 | 連携型選抜<br>合格者数 | 前期選抜<br>連携型選抜<br>合格者数 | 後 期 選 抜<br>合 格 者 数 | 合格者数   |
|------|--------|--------------|---------------|-----------------------|--------------------|--------|
| 普通科等 | 7,230  | 918          | 26            | 6,383                 | 148                | 6,531  |
| 農 業  | 1,040  | 126          |               | 822                   | 23                 | 845    |
| 水 産  | 160    | 18           |               | 135                   | 4                  | 139    |
| 工 業  | 2,000  | 307          | 13            | 1,751                 | 21                 | 1,772  |
| 商 業  | 1,440  | 381          |               | 1,286                 | 16                 | 1,302  |
| 家 庭  | 40     | 0            |               | 11                    | 1                  | 12     |
| 総 合  | 1,320  | 288          | 123           | 1,080                 | 13                 | 1,093  |
| 計    | 13,230 | 2,038        | 162           | 11,468                | 226                | 11,694 |



《定時制》

| 学科 | 入学定員 | 特色選抜<br>合格者数 | 連携型選抜<br>合格者数 | 前期選抜<br>合格者数 | 後期選抜<br>合格者数 | 合格者数 |
|----|------|--------------|---------------|--------------|--------------|------|
| 普通 | 440  | 7            |               | 187          | 24           | 211  |
| 工業 | 40   | 1            |               | 12           | 0            | 12   |
| 計  | 480  | 8            |               | 199          | 24           | 223  |

## 2 現職教育

### (1) 各種研修並びに講習会

| 名称                          | 期日         | 期間    | 会場                                                                                        | 参加者                  |
|-----------------------------|------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 新任校長研修会                     | 5.9～5.10   | 2日    | 教育センター                                                                                    | 新任県立高等学校長7名          |
| 新任教頭研修会                     | 5.16～5.17  | 2日    | 教育センター                                                                                    | 新任県立高等学校教頭16名        |
| 経験者研修Ⅲ（中堅教員研修）              | 10.30～11.1 | 3日    | 教育センター                                                                                    | 県立学校中堅教員51名          |
| 初任者研修（基本研修）                 | 4.4～4.5    | 2日    | 教育センター                                                                                    | 高等学校初任者研修<br>対象教員45名 |
| 〃（一次研修）                     | 4.17～4.19  | 3日    | 教育センター                                                                                    |                      |
| 〃（二次研修）                     | 2.12～2.14  | 3日    | 教育センター                                                                                    |                      |
| 〃（教科別研修）                    | 9.3～9.5    | 3日    | ・数学（四倉）<br>・理科（いわき光洋）<br>・保健体育（いわき総合）<br>・音楽（磐城農業、好間）<br>・書道（郡山商業、郡山東）<br>・英語（新地）         |                      |
|                             | 9.17～9.19  | 3日    | ・国語（原町）<br>・地歴公民（葵）<br>・美術（光南）<br>・家庭（ふたば未来学園）<br>・農業水産（福島明成）<br>・工業（小高産業技術）<br>・商業（福島商業） |                      |
| 〃（地区別研修）                    | 4月～11月     | 11日   | 各地区施設<br>学校等                                                                              | 高等学校初任者研修<br>修了教員37名 |
| 〃（所属における研修）                 | 4月～3月      | 150時間 | 各所属校                                                                                      |                      |
| 2年次教員フォローアップ研修<br>（教科等指導研修） | 7.8        | 1日    | 教育センター                                                                                    |                      |
| 〃（企業体験研修）                   | 長期休業期間中    | 2日    | 各企業等                                                                                      |                      |
| 〃（所属校における研修）                | 4月～3月      | 30時間  | 各所属校                                                                                      |                      |

| 名 称          | 期 日                                  | 期 間                      | 会 場                                | 参 加 者                    |
|--------------|--------------------------------------|--------------------------|------------------------------------|--------------------------|
| 経験者研修Ⅰ（校外研修） | 1 班<br>9.24～9.26<br>2 班<br>10.2～10.4 | 3 日                      | 教育センター                             | 県立学校教職経験<br>5年を経過した者 69名 |
| 〃（所属校における研修） | 5月～12月                               | 5 日                      | 各所属校                               |                          |
| 経験者研修Ⅱ（共通研修） | 4.12                                 | 1 日                      | 教育センター                             | 県立学校教職経験                 |
| 〃（生徒指導研修）    | 7.2                                  | 1 日                      | 教育センター                             | 10年を経過した者 79名            |
| 〃（教科指導研修Ⅰ）   | 7.3                                  | 1 日                      |                                    |                          |
| 〃（教科指導研修Ⅱ）   | 2.6～2.7                              | 2 日                      |                                    |                          |
| 〃（社会体験研修Ⅰ）   | 4月～1月                                | 2 日                      | 各所、施設等                             |                          |
| 〃（所属校における研修） | 4月～1月                                | 15 日以上                   | 各所属校                               |                          |
| 〃（選択研修）      | 4月～1月                                | 3 日以上                    | 各所、施設等                             |                          |
| 新任教務主任研修会    | 8.2<br>8.6<br>8.9<br>8.19            | 1 日<br>1 日<br>1 日<br>1 日 | 磐城農業高校<br>会津学鳳高校<br>会津学鳳高校<br>白河高校 | 新任教務主任 14名               |

## (2) 教員体験研修（2か月）

実施せず

## (3) 教職員等中央研修

ア 趣旨

学校経営力向上のための高度で専門的な知識等を習得させ、各地域の中核となる校長、教頭、中堅教員を育成する。

イ 主催 独立行政法人教員研修センター

ウ 共催 文部科学省

エ 会場 独立行政法人教員研修センター

オ 期間及び参加者

◇校長研修（10月7日～10月11日）

県立本宮高等学校長 黒川 佳子

◇副校長・教頭等研修（9月24日～10月4日）

県立磐城高等学校教頭 齋藤 悟史

◇中堅教員研修（11月18日～11月29日）

県立いわき総合高等学校教諭 横田 潤

県立白河実業高等学校教諭 齋藤 亮

◇次世代リーダー育成研修

（8月5日～8月9日）

県立磐城桜が丘高等学校教諭 菅野 剛

県立小名浜高等学校教諭 青木 仁志

ウ 共催 文部科学省

エ 会場 独立行政法人教員研修センター

オ 期間及び参加者

（9月2日～9月6日）

県立ふたば未来学園高等学校教頭 高橋 敏幸

## 3 教育課程

### (1) 高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会

ア 目的

高等学校学習指導要領の趣旨の実現を目指し、教育課程の編成及び実施上の諸問題、新学習指導要領の趣旨の説明、協議、情報交換等を行い、もって高等学校における教育課程の適切な実施を図ることを目的とする。

イ 主催 文部科学省

ウ 共催 国立教育政策研究所

エ 期日

7月8日（月）～7月12日（金）、

7月16日（火）～7月17日（水）

オ 開催地 東京都

カ 参加者

| 部 会     | 氏 名   | 所 属         |
|---------|-------|-------------|
| 総 則     | 亀田 光弘 | 高 校 教 育 課   |
| 国 語     | 梅野 克也 | 高 校 教 育 課   |
| 地 理 歴 史 | 大和田好倫 | 高 校 教 育 課   |
| 公 民     | 武田 重信 | 教 育 セ ン タ ー |
| 数 学     | 佐藤 周  | 高 校 教 育 課   |

## (4) 学校組織マネジメント指導者養成研修

ア 趣旨

学校組織マネジメントの理論を身に付け、的確な校長のリーダーシップと経営理念のもとに戦略を構築し、学校内外の資源を活用することができるようにする。

イ 主催 独立行政法人教員研修センター

| 部 会       | 氏 名   | 所 属           |
|-----------|-------|---------------|
| 理 科       | 高野 英樹 | 高 校 教 育 課     |
| 保 健 体 育   | 佐藤 真一 | 福 島 西 高 等 学 校 |
| 音 楽       | 鈴木 敦  | 高 校 教 育 課     |
| 美 術 ・ 工 芸 | 橋本 淳也 | 教 育 セ ン タ ー   |
| 書 道       | 佐藤 真紀 | 白 河 高 等 学 校   |
| 外 国 語     | 四家 真澄 | 高 校 教 育 課     |
| 家 庭       | 鈴木砂代子 | 高 校 教 育 課     |
| 情 報       | 滝沢日佐人 | 高 校 教 育 課     |
| 理 数       | 高野 英樹 | 高 校 教 育 課     |
| 総合的な探究の時間 | 坂本 圭介 | 県 中 教 育 事 務 所 |
| 特 別 活 動   | 緑川 誠  | 県 南 教 育 事 務 所 |

## (2) 福島県高等学校教育課程講習会

### ア 目的

新高等学校学習指導要領について、その趣旨の徹底を図るとともに、教育課程実施に伴う諸問題について研究協議を行う。

### イ 主催

文部科学省及び福島県教育委員会

### ウ 期日・会場・参加者数

| 地 区    | 期 日  | 会 場       | 参加者数  |
|--------|------|-----------|-------|
| 県 北    | 8月5日 | 福島南高等学校   | 296   |
| 県中・県南  | 8月6日 | 光南高等学校    | 404   |
| い わ き  | 8月7日 | いわき光洋高等学校 | 190   |
| 相 双    | 8月8日 | 相馬高等学校    | 52    |
| 会津・南会津 | 8月9日 | 会津学鳳高等学校  | 166   |
| 合 計    |      |           | 1,108 |

### エ 部会の参加者

設置部会及び参加者数は次の通りである。

| 部 会     | 参加者数 | 部 会   | 参加者数  |
|---------|------|-------|-------|
| 総 則     | 103  | 書 道   | 3     |
| 国 語     | 117  | 外 国 語 | 135   |
| 地 理 歴 史 | 76   | 家 庭   | 38    |
| 公 民     | 17   | 情 報   | 5     |
| 数 学     | 129  | 農 業   | 34    |
| 理 科     | 104  | 工 業   | 101   |
| 保 健 体 育 | 112  | 商 業   | 97    |
| 音 楽     | 15   | 水 産   | 8     |
| 美術・工芸   | 10   | 看護・福祉 | 4     |
| 合 計     |      |       | 1,108 |

## (3) 情報教育の充実

### ア 情報教育研修

(ア) 専門研修 高等学校教育の産業教育及び教育センターの情報処理教育講座の欄参照

(イ) 一般研修 各種研修において情報処理に関する演習等を実施

### イ 情報処理関係学科の設置状況

|    |        |                  |
|----|--------|------------------|
| 農業 | 生産情報   | 福島明成             |
| 工業 | 情報技術   | 郡山北工業、会津工業、平工業   |
|    | 情報電子   | 福島工業、清陵情報        |
|    | 情報システム | 二本松工業            |
|    | 情報工学   | 平工業              |
| 商業 | 情報処理   | 郡山商業、清陵情報        |
|    | 情報会計   | 福島南、本宮、清陵情報      |
|    | 情報ビジネス | 福島商業、白河実業、若松商業修明 |
|    | オフィス情報 | 須賀川              |
|    | 情報システム | 喜多方桐桜、平商業        |
|    | 産業革新   | 小高産業技術           |
| 水産 | 情報通信   | いわき海星            |

## (4) 国際理解教育の充実

語学指導等を行う外国青年招致事業

国際化に対応できる人材の育成及び外国語教育の充実

ア 招致人数 33名

イ 配 置 ○県内23の高校に各1名を配置、配置校における指導及び訪問指導

○県内8つの高校に各1名、県立中学校に各1名配置、専任校における指導

## 4 学力向上対策等

### (1) 令和元年度文部科学省指定各種研究校

| 研究種別                 | 学校名  | 指定年度           | 研究主題                                                                                                                     |
|----------------------|------|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| スーパーサイエンスハイスクール（SSH） | 会津学鳳 | H28<br>～<br>R2 | 大学、研究機関、地元企業の協力のもとに、高度なコンピュータリテラシーをそなえ、国際化、情報化社会で活躍できる科学技術系人材を、中学校・高等学校・大学の連携体制を通して育成するプログラムの研究開発。                       |
|                      | 福島   | H29<br>～<br>R3 | 高い専門性と地域のリーダーとしての資質を併せ持つ世界で活躍する科学技術人材の育成を目的とし、この達成のために創造的思考力、表現力・発信力、国際力、専門力、物事を完遂する力といった5つの資質・能力の育成を目標とする。              |
|                      | 安積   | R1<br>～<br>R5  | 自ら進んで課題に向き合い、新しい社会を創出し、地域から世界を牽引できる科学技術系リーダーを育成するために、主体的・協働的な探究型学習を推進する教育プログラムを開発し、それを支え、発展させる新しい地域教育・共創モデルを確立するための研究開発。 |

### (2) アクティブ・ラーニングによる学力向上推進事業

#### ア スペシャリスト育成ミッション支援事業

アクティブ・ラーニングの視点も取り入れて、生徒の進路実現に必要な学力向上や指導力の向上及び地域とのつながりを重視したプログラム等を実施し、社会人としての自覚や基礎学力の育成を図った。各学校における指導内容や指導法について連携を図り、3年間を見通した計画的な指導体制の充実を図った。

#### ○ 対象校：県立高等学校20校

福島商業、福島明成、須賀川、清陵情報、岩瀬農業、光南、白河旭、白河実業、塙工業、石川、船引、若松商業、猪苗代、川口、南会津、湯本、小名浜、いわき海星、相馬農業、新地

#### イ 大学進学ミッション支援事業

アクティブ・ラーニングの視点も取り入れて、生徒の大学進学へ向けた早期の意識改革と学力向上を図った。さらには、教員の教科指導力や進学指導力の向上を図るとともに、各学校における指導内容や指導法等について情報共有や連携を進めて、3年間を見通した計画的な指導体制の充実を図った。

#### ○ 対象校：県立高等学校18校

福島、橘、福島西、福島東、安積、安積黎明、郡山東、郡山、須賀川桐陽、白河、会津、葵、会津学鳳、喜多方、磐城、磐城桜が丘、相馬、原町

#### ウ オールふくしまリーダー育成プロジェクト

教員や予備校講師によるレベルの高い授業を実施し学力の向上を図るとともに、進路講演会や大学の先輩との交流、参加者同士の協議等を通して進路意識の高揚を図り、将来リーダーシップを発揮し社会に貢献できる人材としての礎を築いた。

#### ○ 対象：難関大学進学への意識、意欲の高い県立高等学校1年生及び2年生、それぞれ150名程度。

#### ○ 日時：1年生・2泊3日

令和2年3月25日～27日 [中止]

2年生・地区別（4地区）2日間

県北・相双地区（会場校：福島高等学校）

令和元年12月26日（木）、27日（金）

県中・県南地区（会場校：安積高等学校）

令和元年12月25日（水）、26日（木）

会津・南会津地区（会場校：会津高等学校）

令和元年7月29日（月）、30日（火）

いわき地区（会場校：磐城高等学校）

令和2年1月6日（月）、7日（火）

## 5 生徒指導・進路指導

### (1) 教育事務所指導主事の活動

県内7地区の教育事務所の指導主事の活動によって生徒指導の充実を図った。

主な活動は次のとおりである。

ア 地区内の高等学校の訪問指導（計画・随時）

イ 地区内の高等学校生活指導協議会の指導・援助

ウ 関係諸機関、諸団体との連携

エ 生徒指導関係の情報と資料の収集

オ 生徒指導関係の諸研修会における指導

### (2) スクールカウンセラーの配置

生徒の問題行動の多様化や深刻化、東日本大震災に伴う心のケアに対応するため、全ての県立高等学校（87校）にスクールカウンセラーを配置した。

## 6 学校行事

### (1) 卒業式

#### ア 県立高等学校卒業生数

| 課程  | 性別    |       | 計      |
|-----|-------|-------|--------|
|     | 男     | 女     |        |
| 全日制 | 6,579 | 6,318 | 12,897 |
| 定時制 | 124   | 102   | 226    |
| 通信制 | 55    | 64    | 119    |
| 計   | 6,758 | 6,484 | 13,242 |

イ 卒業式実施期日

| 種別<br>日付 | 全日制 | 定時制 | 通信制 | 計  |
|----------|-----|-----|-----|----|
| 3月1日     | 81  | 5   | 0   | 86 |
| 3月2日     | 1   | 2   | 0   | 3  |
| 3月8日     | 0   | 0   | 1   | 1  |
| 計        | 82  | 7   | 1   | 90 |

ウ 県知事、県議会議長、県教育長臨席校

県知事臨席校 3月1日 安積黎明高等学校  
あさか開成高等学校  
県議会議長臨席校 コロナ対策のため臨席せず  
県議会副議長臨席校 コロナ対策のため臨席せず  
県教育長臨席校 3月1日 福島商業高等学校  
相馬農業高校飯館校

(2) 修学旅行(県立高等学校) ( )は前年度

ア 参加生徒総数 12,463人(13,072人)  
イ 参加率 95.2%(98.2%)  
ウ 行先

| 行先       | 校数      |
|----------|---------|
| 北海道      | 1 (0)   |
| 関東       | 1 (0)   |
| 奈良・京都    | 49 (48) |
| 中国・近畿    | 14 (20) |
| 九州       | 2 (1)   |
| 沖縄       | 12 (12) |
| 四国・中国・近畿 | 3 (1)   |
| 四国・近畿    | 0 (1)   |
| 四国       | 0 (0)   |
| 海外       | 4 (2)   |

エ 航空機利用 37校(34校)

北海道方面 1校(0校)  
大阪方面 18校(17校)  
九州方面 2校(0校)  
沖縄方面 12校(12校)  
広島 0校(2校)  
愛媛 0校(1校)  
海外 4校(2校)

オ 泊日数

1泊2日 0校(0校)  
2泊3日 5校(2校)  
3泊4日 70校(72校)  
4泊5日 11校(11校)

カ 必要経費

生徒一人当たりの最高額 135,000円(143,122円)  
最低額 67,945円(79,961円)  
平均額 103,474円(102,354円)

キ 引率責任者

校長 38校(41校)  
副校長 1校(0校)  
教頭 47校(44校)

## 7 産業教育

(1) 県産業教育フェア

令和元年度は実施せず。

(2) 文部科学省主催の研修講座と内容

ア 令和元年度産業・情報技術等指導者養成研修

| 教科 | 氏名     | 職名 | 学校名       | 研修先               | 研修期間        |
|----|--------|----|-----------|-------------------|-------------|
| 農業 | 藤原 忍   | 教諭 | 修明高等学校    | クリエート浜松他          | 7月29日～8月2日  |
| 工業 | 菊池 研吾  | 教諭 | 会津工業高等学校  | 金沢工業大学扇が丘キャンパス    | 8月19日～8月23日 |
| 商業 | 佐藤美由紀  | 教諭 | 猪苗代高等学校   | 千葉商科大学            | 7月29日～8月2日  |
| 水産 | 雨谷 始彦  | 教諭 | いわき海星高等学校 | 東京海洋大学越中島キャンパス他   | 7月30日～8月2日  |
| 家庭 | 瀬谷 佳代子 | 教諭 | 船引高等学校    | 全国高等学校長協会家庭部会事務局他 | 8月5日～8月8日   |
| 情報 | 酒井 政明  | 教諭 | 清陵情報高等学校  | 千葉商科大学            | 7月29日～8月2日  |

イ 令和元年度産業教育実習助手研修

| 教科 | 氏名   | 職名   | 学校名        | 研修先         | 研修期間        |
|----|------|------|------------|-------------|-------------|
| 工業 | 羽田直揮 | 実習助手 | 小高産業技術高等学校 | 足利大学大前キャンパス | 8月19日～8月23日 |
| 工業 | 池田政人 | 実習講師 | 平工業高等学校    | 足利大学大前キャンパス | 8月19日～8月23日 |

ウ 令和元年度学校農業・家庭クラブ連盟指導者養成講座

| 教科 | 氏名   | 職名 | 学校名      | 研修先                 | 研修期間        |
|----|------|----|----------|---------------------|-------------|
| 農業 | 浦山拓也 | 教諭 | 磐城農業高等学校 | 国立オリンピック記念青少年総合センター | 8月7日～8月9日   |
| 家庭 | 折笠浩美 | 教諭 | 磐城農業高等学校 | 国立オリンピック記念青少年総合センター | 7月25日～7月26日 |

8 学校訪問

(1) 目的

指導主事等が県立学校を訪問し、関係者とともに授業研究や教科の指導に関する研究協議を行うことにより、学習指導等の充実を図る。

(2) 訪問校

経験者研修Ⅰ、又は経験者研修Ⅱの該当者の勤務する学校から数校を選定する。

(3) 訪問学校一覧

|           |         |
|-----------|---------|
| 福島高等学校    | 数学      |
| 福島工業高等学校  | 工業      |
| 福島西高等学校   | 英語      |
| 福島東高等学校   | 理科      |
| 安積黎明高等学校  | 数学      |
| 郡山東高等学校   | 国語      |
| 郡山商業高等学校  | 商業、学校保健 |
| あさか開成高等学校 | 理科      |
| 須賀川高等学校   | 保健体育    |
| 清陵情報高等学校  | 芸術（音楽）  |
| 岩瀬農業高等学校  | 農業、理科   |
| 光南高等学校    | 家庭      |
| 塙工業高等学校   | 公民      |
| 修明高等学校    | 国語      |
| 船引高等学校    | 芸術（美術）  |
| 会津高等学校    | 数学、国語   |
| 会津工業高等学校  | 工業      |
| 喜多方桐桜高等学校 | 工業、学校保健 |
| 猪苗代高等学校   | 商業      |
| 川口高等学校    | 保健体育    |
| 田島高等学校    | 地理歴史    |
| 只見高等学校    | 英語      |
| 磐城高等学校    | 英語、理科   |

|             |             |
|-------------|-------------|
| いわき海星高等学校   | 地理歴史、水産     |
| 勿来工業高等学校    | 工業          |
| ふたば未来学園高等学校 | 情報          |
| 相馬高等学校      | 公民          |
| 相馬農業高等学校    | 農業          |
| 新地高等学校      | 保健体育        |
| いわき翠の杜高等学校  | 定通（国語）、保健体育 |

9 県立学校学校教育指導委員

| 教科名  | 氏名    | 職名 | 学校名         |
|------|-------|----|-------------|
| 国語   | 中島 知子 | 教諭 | 清陵情報高等学校    |
|      | 高橋 敏哉 | 教諭 | 葵高等学校       |
|      | 鈴木 貴子 | 教諭 | 磐城農業高等学校    |
| 地理歴史 | 阿部健太郎 | 教諭 | 喜多方東高等学校    |
|      | 林 裕文  | 教諭 | ふたば未来学園高等学校 |
| 公民   | 香西二郎  | 教諭 | 橘高等学校       |
|      | 菊地 祐介 | 教諭 | 白河実業高等学校    |
| 数学   | 松倉 桂子 | 教諭 | 修明高等学校      |
|      | 長谷川 匠 | 教諭 | 猪苗代高等学校     |
|      | 佐藤 伸也 | 教諭 | 福島東高等学校     |
| 理科   | 遠藤 喜光 | 教諭 | 安積黎明高等学校    |
|      | 田柳 美澄 | 教諭 | 郡山高等学校      |
|      | 菅家 奈未 | 教諭 | 会津学鳳高等学校    |
|      | 橘 圭子  | 教諭 | 小高産業技術高等学校  |
| 保健体育 | 渡部 健次 | 教諭 | 小野高等学校      |
|      | 佐藤 喜平 | 教諭 | 会津学鳳高等学校    |
|      | 渡邊 亮  | 教諭 | 湯本高等学校      |
|      | 成田 祐介 | 教諭 | 相馬東高等学校     |

| 教科名    | 氏名         | 職名   | 学校名       |
|--------|------------|------|-----------|
| 芸術(美術) | 中原 勝       | 教諭   | 福島高等学校    |
|        | (音楽) 宍戸 真市 | 教諭   | 若松商業高等学校  |
|        | (書道) 佐藤 真紀 | 教諭   | 白河高等学校    |
| 外国語    | クームズ茂子     | 教諭   | 福島東高等学校   |
|        | 安部美代子      | 教諭   | 葵高等学校     |
|        | 竹中 睦       | 教諭   | 磐城桜が丘高等学校 |
| 家庭     | 永井富美子      | 教諭   | 喜多方高等学校   |
|        | 遠藤 美英      | 教諭   | 安達高等学校    |
| 情報     | 佐々木茂明      | 教諭   | 安積高等学校御館校 |
| 農業・水産  | 郷 貫        | 教諭   | 修明高等学校    |
|        | 沖沢 秀一      | 教諭   | 磐城農業高等学校  |
|        | 長南 哲也      | 教諭   | 安達東高等学校   |
| 工業     | 先崎 隆幸      | 教諭   | 塙工業高等学校   |
|        | 馬場 正紀      | 教諭   | 郡山北工業高等学校 |
|        | 石田 和之      | 教諭   | 平工業高等学校   |
|        | 鈴木 康生      | 教諭   | 喜多方桐桜高等学校 |
| 商業     | 阿久津芳久      | 教諭   | 福島商業高等学校  |
|        | 中島 裕       | 教諭   | 郡山商業高等学校  |
| 定通     | 松本 史歩      | 教諭   | 郡山萌世高等学校  |
| 学校保健   | 佐々木則子      | 養護教諭 | 白河実業高等学校  |
|        | 後藤ひとみ      | 養護教諭 | 本宮高等学校    |

(39名)

## 10 教科用図書

### (1) 教科書採択事務説明会

令和元年度は実施せず。

## 11 教育研究団体

### (1) 福島県高等学校長協会

組織

令和元年度福島県高等学校長協会役員名簿

| 役職名  | 氏名          |
|------|-------------|
| 会長   | 阿部 武彦 (磐城)  |
| 副会長  | 竹田 真二 (福島)  |
| 副会長  | 小島 稔 (安積)   |
| 副会長  | 廣瀬 敬彦 (会津)  |
| 副会長  | 山崎 雅弘 (原町)  |
| 監査   | 瓜生 康弘 (福西)  |
| 監査   | 吉津 三千彦 (福南) |
| 事務局長 | 吉田 強栄 (福東)  |

| 支部  |            |            |
|-----|------------|------------|
| 支部  | 支部長        | 副支部長       |
| 県北  | 竹田 真二 (福島) | 吉村 淳 (橘)   |
|     |            | 松本 明倫 (福工) |
| 県南  | 小島 稔 (安積)  | 菅野 哲哉 (黎明) |
|     |            | 田中 誠 (白河)  |
| 会津  | 廣瀬 敬彦 (会津) | 鈴木 睦治 (葵)  |
|     |            | 遠藤 利晴 (喜方) |
| いわき | 阿部 武彦 (磐城) | 比佐 功 (桜丘)  |
|     |            | 神田 豊 (平支)  |
| 相双  | 山崎 雅弘 (原町) | 菊田 勇雄 (相馬) |
|     |            | 丹野 純一 (ふ未) |

### 理事会

|     | 氏名         |            |
|-----|------------|------------|
| 理事会 | 竹田 真二 (福島) | 吉村 淳 (橘)   |
|     | 小島 稔 (安積)  | 小林 喜則 (福商) |
|     | 廣瀬 敬彦 (会津) | 大和田範雄 (明成) |
|     | 阿部 武彦 (磐城) | 松本 明倫 (福工) |
|     | 山崎 雅弘 (原町) | 阿部 秀樹 (萌世) |
|     | 吉田 強栄 (福東) | 須田 康仁 (視支) |
|     |            | 遠藤 均 (田村)  |
|     |            |            |

### 専門委員会 (◎印 委員長 ○印 副委員長)

| 専門委員会   | 氏名          |             |
|---------|-------------|-------------|
| 管理運営委員会 | ◎平澤 洋介 (小浜) | ○森下陽一郎 (須川) |
|         | 吉津三千彦 (福南)  | 阿部 学 (遠野)   |
|         | 菊池 直之 (白旭)  | 丹野 純一 (ふ未)  |
|         | 佐々木理夫 (猪代)  | 須田 康仁 (視支)  |
|         | 齋藤 靖 (大沼)   | 齋藤 恵子 (た支)  |
|         | 阿部 武彦 (磐城)  |             |
| 教育課題委員会 | ◎齋藤 文子 (石川) | ○安田 修久 (会農) |
|         | 吉田 強栄 (福東)  | 関根 健雄 (四倉)  |
|         | 郷 清隆 (修明)   | 丹野 好恵 (大支)  |
|         | 猪狩 良一 (石支)  | 五ノ井平吉 (川口)  |
|         | 神田 豊 (平支)   | 西牧 辰典 (富支)  |
| 生徒指導委員会 | ◎中野 幹夫 (相農) | ○芳賀 菊博 (勿工) |
|         | 鈴木 義祐 (福北)  | 金田洋一郎 (松工)  |
|         | 夏目利江子 (好間)  | 遠藤 均 (田村)   |
|         | 小針 幸雄 (小野)  | 上妻 弘 (あ支)   |
|         | 高橋 文彦 (塙工)  | 伊藤 俊幸 (会支)  |
|         | 橋本 忠広 (南会)  | 山崎 雅弘 (原町)  |
|         | 櫻井 克彦 (耶農)  |             |

| 専門委員会                      | 氏 名           |             |
|----------------------------|---------------|-------------|
| 教 育<br>課 程<br>委 員 会        | ◎佐竹 正徳 (只見)   | ○渡邊 学 (い総)  |
|                            | 竹田 真二 (福島)    | 大和田範雄 (明成)  |
|                            | 松本 明倫 (福工)    | 松本 善法 (い海)  |
|                            | 郡司 完 (光南)     | 高橋 豊治 (磐農)  |
|                            | 渋川 卓也 (喜東)    | 高島 秀一 (新地)  |
|                            | 吉成 広昭 (田島)    | 曾川 孝規 (西支)  |
| 高 校<br>入 試<br>検 討<br>委 員 会 | ◎佐藤 秀美 (い光)   | ○矢森 健一 (あ開) |
|                            | 高澤 正男 (梁川)    | 吉井 秀樹 (西会)  |
|                            | 佐藤 弘樹 (保原)    | 松尾 幸生 (坂下)  |
|                            | 猪俣 豊 (船引)     | 吉田 浩美 (い翠)  |
|                            | 星 栄一 (長沼)     | 渡邊 正仁 (相東)  |
|                            | 廣瀬 敬彦 (会津)    | 阿部 秀樹 (萌世)  |
| 大 学<br>入 試<br>対 策<br>委 員 会 | ◎瀬谷真理子 (郡東)   | ○瓜生 康弘 (福西) |
|                            | 吉村 淳 (橘)      | 遠藤 利晴 (喜方)  |
|                            | 鈴木 睦治 (葵)     | 小島 稔 (安積)   |
|                            | 湯田 重哉 (学鳳)    | 菅野 哲哉 (黎明)  |
|                            | 比佐 功 (桜丘)     | 二瓶 晃一 (湯本)  |
|                            | 白石 文夫 (郡山)    | 菊田 勇雄 (相馬)  |
|                            | 井関 和明 (桐陽)    | 郷家 俊哉 (郡支)  |
|                            | 田中 誠 (白河)     |             |
| 就 職<br>指 導<br>対 策<br>委 員 会 | ◎馬場 裕史 (郡商)   | ○澁谷 栄一 (郡北) |
|                            | 小林 喜則 (福商)    | 高梨 哲夫 (会工)  |
|                            | 山内 義美 (川俣)    | 松浦 冬樹 (平商)  |
|                            | 黒川 佳子 (本宮)    | 鈴木 康隆 (平工)  |
|                            | 鈴木 稔 (小産)     | 小檜山宗浩 (聴支)  |
|                            | 二瓶 賢一 (清陵)    | 佐藤 清悦 (い支)  |
| 人 権<br>教 育<br>委 員 会        | ◎木村 敏明 (勿来)   | ○鈴木 龍也 (相支) |
|                            | 中野 隆幸 (安達)    | 伊藤 重幸 (安東)  |
|                            | 橋本 淳一 (須支)    | 渡辺 譲治 (岩農)  |
|                            | 菅野美恵子 (猪支)    | 富樫 実 (白実)   |
|                            | 秦 尚志 (湖南)     |             |
| 部会長                        |               |             |
| 部 会                        | 氏 名           |             |
| 普通部会                       | 吉村 淳 (橘)      |             |
| 商業部会                       | 小林 喜則 (福島商業)  |             |
| 農業部会                       | 大和田範雄 (福島明成)  |             |
| 工業部会                       | 松本 明倫 (福島工業)  |             |
| 水産部会                       | 松本 善法 (いわき海星) |             |

| 部 会    | 氏 名          |
|--------|--------------|
| 家庭部会   | 瀬谷真理子 (郡山東)  |
| 定通部会   | 阿部 秀樹 (郡山萌世) |
| 特別支援部会 | 須田 康仁 (視覚支援) |
| 理数部会   | 菊田 勇雄 (相馬)   |
| 英語国際部会 | 吉津三千彦 (福島南)  |
| 体育部会   | 遠藤 均 (田村)    |
| 総合学科部会 | 郡司 完 (光南)    |

| 全国校長会 |              |
|-------|--------------|
| 部 会   | 氏 名          |
| 理 事   | 阿部 武彦 (磐城)   |
| 理 事   | 竹田 真二 (福島)   |
| 理 事   | 小島 稔 (安積)    |
| 管理運営  | 平澤 洋介 (小名浜)  |
| 教育課題  | 齋藤 文子 (石川)   |
| 生徒指導  | 中野 幹夫 (相馬農業) |
| 教育課程  | 佐竹 正徳 (只見)   |
| 大学入試  | 瀬谷真理子 (郡山東)  |
| 就職対策  | 馬場 裕史 (郡山商業) |
| 人権教育  | 木村 敏明 (勿来)   |

## (2) 福島県高等学校教育研究会

ア 財政及び組織の状況

(ア) 本部

令和元年度福島県高等学校教育研究会

| 役職名 | 氏 名    | 所属校・職名        |
|-----|--------|---------------|
| 会 長 | 吉田 強栄  | 福島県立福島東高等学校校長 |
| 副会長 | 小島 稔   | 〃 安積高等学校校長    |
| 副会長 | 井関 和明  | 〃 須賀川桐陽高等学校校長 |
| 監 査 | 竹田 真二  | 〃 福島高等学校校長    |
| 監 査 | 吉津 三千彦 | 〃 福島南高等学校     |
| 委 員 | 鈴木 義祐  | 〃 福島北高等学校校長   |
| 委 員 | 田中 誠   | 〃 白河高等学校校長    |
| 委 員 | 大和田 範雄 | 〃 福島明成学校校長    |
| 委 員 | 松本 明倫  | 〃 福島工業高等学校校長  |
| 委 員 | 小林 喜則  | 〃 福島商業高等学校校長  |
| 委 員 | 高梨 哲夫  | 〃 会津第二高等学校校長  |
| 委 員 | 中野 隆幸  | 〃 安達高等学校校長    |
| 委 員 | 伊藤 重幸  | 〃 安達東高等学校校長   |
| 委 員 | 菅野 哲哉  | 〃 安積黎明高等学校校長  |
| 幹 事 | 森 和茂   | 〃 福島東高等学校教頭   |
| 幹 事 | 名嶋 明宏  | 〃 福島東高等学校教頭   |



## (イ) 部会

| 部会名  | 部会長氏名  | 所属校・職名     | 会員数 |
|------|--------|------------|-----|
| 養護教諭 | 小島 稔   | 安積高等学校長    | 15  |
| 保健体育 | 鈴木 義祐  | 福島北高等学校長   | 454 |
| 理 科  | 井関 和明  | 須賀川桐陽高等学校長 | 428 |
| 音 楽  | 田中 誠   | 白河高等学校長    | 79  |
| 農 業  | 大和田 範雄 | 福島明成高等学校長  | 232 |
| 工 業  | 松本 明倫  | 福島工業高等学校長  | 406 |
| 商 業  | 小林 喜則  | 福島商業高等学校長  | 322 |

| 部会名  | 部会長氏名 | 所属校・職名    | 会員数 |
|------|-------|-----------|-----|
| 定 通  | 高梨 哲夫 | 会津第二高等学校長 | 153 |
| 英 語  | 中野 隆幸 | 安達高等学校長   | 460 |
| 数 学  | 竹田 真二 | 福島高等学校長   | 469 |
| 家 庭  | 伊藤 重幸 | 安達東高等学校長  | 128 |
| 美術工芸 | 菅野 哲哉 | 安積黎明高等学校長 | 65  |

○令和元年度予算 126,050 円

## 第4節 文化活動の振興

## 1 文化活動の振興

高校生の芸術文化活動の充実向上を図るため、福島県高等学校文化連盟に対する助成を行った。

令和元年12月15日(日)、南相馬市民文化会館「ゆめはっと」において第38回福島県高等学校総合文化祭～ふくしまをつなぐ2019～活動優秀校公演が行われ、事務局校である原町高等学校を中心とした実行委員会の協力により、成功裏のうちに終了した。

## (1) 芸術文化活動発表機会の充実

ア 福島県高等学校文化連盟への助成

福島県高等学校総合文化祭の開催に対する補助を行った。(補助対象事業費計：7,880千円、補助金額計：1,000千円)

## (ア) 令和元年度福島県高等学校文化連盟

役員

| 役職名      | 氏名    | 職   | 所属校      |
|----------|-------|-----|----------|
| 会 長      | 菅野 哲哉 | 校 長 | 安積黎明高等学校 |
| 副会長(私 立) | 森 涼   | 校 長 | 学法石川高等学校 |
| 副会長(県 北) | 吉田 強栄 | 校 長 | 福島東高等学校  |
| 副会長(県 南) | 二瓶 賢一 | 校 長 | 清陵情報高等学校 |
| 副会長(会 津) | 遠藤 利晴 | 校 長 | 喜多方高等学校  |
| 副会長(いわき) | 阿部 学  | 校 長 | 遠野高等学校   |
| 副会長(相 双) | 山崎 雅弘 | 校 長 | 原町高等学校   |
| 理 事 長    | 三條 敦  | 教 諭 | 安積黎明高等学校 |
| 副理事長     | 根本 靖彦 | 教 諭 | 安積黎明高等学校 |
| 事務局長     | 難波 幸生 | 教 諭 | 安積黎明高等学校 |

| 役職名 | 氏名    | 職   | 所属校      |
|-----|-------|-----|----------|
| 監 事 | 馬場 裕史 | 校 長 | 郡山商業高等学校 |
| 監 事 | 飯豊 利子 | 教 諭 | 郡山高等学校   |
| 幹 事 | 朝倉裕一朗 | 教 諭 | 原町高等学校   |
| 幹 事 | 高橋 温仁 | 教 諭 | 喜多方高等学校  |
| 幹 事 | 岩田 隼  | 教 諭 | 小野高等学校   |
| 幹 事 | 梅野 史代 | 教 諭 | 白河高等学校   |
| 幹 事 | 藤川 潤子 | 教 諭 | 安積黎明高等学校 |
| 顧 問 | 鈴木 芳人 | 課 長 | 高校教育課    |

専門部会長・専門部委員長

| 専 門 部 | 部会長   | 職   | 所属校   | 部委員長  | 職   | 所属校   |
|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|
| 演 劇   | 吉津三千彦 | 校 長 | 福島南   | 岡田 篤  | 教 諭 | 福島東稜  |
| 高音連   | 鈴木 和明 | 教 頭 | 安積御館  | 大竹 隆  | 教 諭 | 会 津   |
| 合 唱   | 菅野 哲哉 | 校 長 | 安積黎明  | 星 英一  | 教 諭 | 安積黎明  |
| 吹奏楽   | 渡邊 正仁 | 校 長 | 相馬東   | 今野 貴文 | 教 諭 | 相馬東   |
| 器楽管弦楽 | 馬場 裕史 | 校 長 | 郡山商業  | 瓶子美穂子 | 教 諭 | 郡山商業  |
| 日本音楽  | 比佐 功  | 校 長 | 磐城桜が丘 | 高橋真由美 | 教 諭 | 磐城桜が丘 |

| 専 門 部       | 部会長   | 職   | 所属校    | 部委員長  | 職   | 所属校    |
|-------------|-------|-----|--------|-------|-----|--------|
| 吟詠剣詩舞       | 唐木 義則 | 校 長 | 昌 平    | 大橋 未緒 | 教 頭 | 昌 平    |
| 郷土芸能        | 中野 幹夫 | 校 長 | 相馬農業   | 村田 和丈 | 教 諭 | 磐城農業   |
| マーチングB・バトンT | 白石 文夫 | 校 長 | 郡 山    | 工藤 幸恵 | 教 諭 | 郡 山    |
| 美術・工芸       | 菅野 哲哉 | 校 長 | 安積黎明   | 眞柴 毅  | 教 諭 | 福島東    |
| 書 道         | 阿部 秀樹 | 校 長 | 郡山萌世   | 小野 俊彦 | 教 諭 | 郡山萌世   |
| 写 真         | 佐藤 秀美 | 校 長 | いわき光洋  | 安島 浩  | 教 諭 | いわき光洋  |
| 放 送         | 佐藤 秀美 | 校 長 | いわき光洋  | 中野加奈子 | 教 諭 | いわき光洋  |
| 囲 碁         | 吉村 淳  | 校 長 | 橘      | 鈴木 仁孝 | 教 諭 | 田 島    |
| 将 棋         | 竹田 真二 | 校 長 | 福 島    | 松村 茂郎 | 教 諭 | 福 島    |
| 弁 論         | 廣瀬 敬彦 | 校 長 | 会 津    | 猪俣小百合 | 教 諭 | 会 津    |
| 小倉百人一首かるた   | 菅野 哲哉 | 校 長 | 安積黎明   | 橋本 安広 | 教 諭 | 田 村    |
| 新 聞         | 澁谷 栄一 | 校 長 | 郡山北工業  | 吉田 義仁 | 教 諭 | 郡山北工業  |
| 文 芸         | 橋本 忠広 | 校 長 | 南会津    | 佐藤 道郎 | 教 諭 | 橘      |
| 自然科学        | 井関 和明 | 校 長 | 須賀川桐陽  | 西塔 佳正 | 教 諭 | 湯 本    |
| 農 業         | 大和田範雄 | 校 長 | 福島明成   | 急式 正裕 | 教 諭 | 福島明成   |
| 工 業         | 澁谷 栄一 | 校 長 | 郡山北工業  | 村田 光夫 | 教 諭 | 郡山北工業  |
| 商 業         | 小林 喜則 | 校 長 | 福島商業   | 三浦 純  | 教 諭 | 福島商業   |
| 家 庭         | 高橋 豊治 | 校 長 | 磐城農業   | 渡邊 美紀 | 教 諭 | 磐城農業   |
| 定 通         | 吉田 浩美 | 校 長 | いわき翠の杜 | 永山 幸子 | 教 諭 | いわき翠の杜 |
| 特別支援学校      | 鈴木 龍也 | 校 長 | 相馬支援   | 亀谷真佐子 | 教 諭 | 相馬支援   |
| J R C       | 湯田 重哉 | 校 長 | 会津学鳳   | 鈴木 俊子 | 教 諭 | 会津学鳳   |

イ 第38回福島県高等学校総合文化祭

県内高校生の文化活動の成果発表と相互の交流を目的として、全県内において、令和元年5月から令和元年12月まで、専門部の行事を開催した。

ウ 第43回全国高等学校総合文化祭への参加

令和元年7月27日から8月1日まで、佐賀県で開催された文化祭に参加するため、193名を派遣した。

[参加部門等及び参加生徒数]

演劇42名、合唱27名、日本音楽6名、吟詠剣詩舞11名、郷土芸能19名、美術・工芸6名、書道5名、写真8名、放送18名、囲碁5名、将棋7名、弁論2名、小倉百人一首8名、新聞8名、文芸5名、自然科学14名、ボランティア2名

エ 令和元年度福島県高文連専門部全国大会入賞状況

(ア) 団体

| 専 門 部  | 大 会 名               | 成 績                                       | 学 校 名          |
|--------|---------------------|-------------------------------------------|----------------|
| 合 唱    | 第72回全日本合唱コンクール全国大会  | 金賞 (全国1位) (文部科学大臣賞)<br>金賞 (全国2位) (岡山県知事賞) | 郡 山<br>会 津     |
|        | NHK 全国学校音楽コンクール     | 銀賞 (全国2位)<br>銅賞 (全国3位)                    | 郡 山<br>会 津     |
| 吹奏楽    | 第67回全日本吹奏楽コンクール全国大会 | 銀賞                                        | 磐 城            |
| 器楽・管弦楽 | 日本学校合奏コンクール2019全国大会 | 金賞<br>銀賞                                  | 郡 山 商 業<br>福 島 |

| 専 門 部                 | 大 会 名                             | 成 績                                                                                                                        | 学 校 名                                      |
|-----------------------|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| マーチングバンド・<br>パトントワリング | 全国高等学校ダンスドリル選手権大会2019             | JAZZ 部門 Small 編成 (第2位)<br>ミリタリー部門 (第3位)<br>POM 部門 Small 編成 (第2位)<br>プロップ部門 (第1位)                                           | 郡 山<br>郡 山<br>学法石川<br>郡山商業                 |
|                       | 第11回全国高等学校ダンスドリル冬季大会              | KICK 部門 (第1位)<br>JAZZ 部門 Small 編成 (第2位)<br>POM 部門 Large 編成 (第1位)<br>リリカル部門 (第2位)<br>KICK 部門 (第1位)<br>POM 部門 Small 編成 (第1位) | 郡 山<br>郡 山<br>郡山商業<br>郡山商業<br>郡山商業<br>学法石川 |
| 商 業                   | 第66回全国高等学校珠算・電卓競技大会               | 電卓の部 (第3位)                                                                                                                 | 郡山商業                                       |
|                       | 全国簿記電卓競技大会                        | 電卓団体競技 (第3位)<br>簿記団体競技 (第3位)                                                                                               | 郡山商業<br>若松商業                               |
| 演 劇                   | 第43回全国高等学校総合文化祭<br>第65回全国高等学校演劇大会 | 優秀賞 (第2位)                                                                                                                  | ふたば未来<br>学 園                               |
| 美術・工芸                 | 日学・黒板アート甲子園2019                   | 最優秀賞 (第1位)                                                                                                                 | 会津学鳳                                       |
| 文 芸                   | 第34回全国高等学校文芸コンクール文芸部誌部門           | 優秀賞 (一ツ橋文芸教育振興会賞)                                                                                                          | 磐 城                                        |

(イ) 個人

| 専 門 部 | 大 会 名                                     | 成 績        | 学 校 名   | 氏 名             |
|-------|-------------------------------------------|------------|---------|-----------------|
| 商 業   | 第66回全国高等学校珠算・電卓競技大会<br>(電卓の部)             | 優勝         | 郡山商業    | 佐藤 優花           |
|       | 第66回全国高等学校珠算・電卓競技大会<br>(珠算の部)             | 優勝         | 郡山商業    | 鈴木 琴美           |
| 写 真   | 第43回全国高等学校総合文化祭2019<br>さが総文 写真部門          | 奨励賞        | 安 積     | 渡邊 康広           |
| 書 道   | 第43回全国高等学校総合文化祭2019<br>さが総文 書道部門          | 奨励賞        | 会津学鳳    | 佐藤 麻衣           |
|       | 第43回全国高等学校総合文化祭2019<br>さが総文 書道部門          | 特別賞        | 福 島 西   | 穴戸 聖奈           |
|       | 第43回全国高等学校総合文化祭2019<br>さが総文 書道部門          | 特別賞        | 白 河     | 佐藤 朱音           |
| 自然科学  | 第43回全国高等学校総合文化祭2019<br>さが総文 自然科学部門 ポスター発表 | 奨励賞        | 福 島     | 澁谷 佳輝<br>佐々木 隼暉 |
| 文 芸   | 第34回全国高等学校文芸コンクール<br>小説部門                 | 優秀賞        | 磐 城     | 松野 未悠           |
| 特別支援  | 第88回全国盲学校弁論大会                             | 優勝         | 視 覚 支 援 | 常 松 桜           |
| 放 送   | 第43回全国高等学校総合文化祭放送部門                       | アナウンス部門優秀賞 | 磐 城     | 佐藤 一貴           |

令和元年度福島県高等学校文化連盟表彰

(ア) 優秀団体

| No. | 団体名       | 所属校名    | 専門部                   | 全国大会での成績                                                                                                                                                                       |
|-----|-----------|---------|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | チアダンス部    | 郡山      | マーチングバンド・<br>バトントワリング | 全国高等学校ダンスドリル選手権大会 2019<br>主催：ミスダンスドリルインターナショナルジャパン<br>JAZZ 部門 small 編成 2 位、ミリタリー部門 3 位<br>第 11 回全国高等学校ダンスドリル冬季大会<br>主催：ミスダンスドリルインターナショナルジャパン<br>KICK 部門優勝 JAZZ 部門 small 編成 2 位 |
| 2   | チアリーディング部 | 郡山商業    | マーチングバンド・<br>バトントワリング | 全国高等学校ダンスドリル選手権大会 2019<br>主催：ミスダンスドリルインターナショナルジャパン<br>PROP 部門優勝<br>第 11 回全国高等学校ダンスドリル冬季大会<br>主催：ミスダンスドリルインターナショナルジャパン<br>Pom 部門 Large 編成優勝、リリカル部門 2 位、KICK 部門 2 位              |
| 3   | チアリーディング部 | 学法石川    | マーチングバンド・<br>バトントワリング | 全国高等学校ダンスドリル選手権大会 2019<br>主催：ミスダンスドリルインターナショナルジャパン<br>Pom 部門 small 編成 2 位<br>第 11 回全国高等学校ダンスドリル冬季大会<br>主催：ミスダンスドリルインターナショナルジャパン<br>Pom 部門 small 編成優勝                           |
| 4   | 演劇部       | ふたば未来学園 | 演劇                    | 第 43 回全国高等学校総合文化祭 第 65 回全国高等学校演劇大会<br>主催：文化庁、全国高等学校文化連盟<br>優秀賞（第 2 位）                                                                                                          |
| 5   | 珠算部       | 郡山商業    | 商業                    | 令和元年度第 66 回全国高等学校珠算・電卓競技大会<br>主催：全国商業高等学校長協会、全国商業高等学校協会<br>電卓の部 第 3 位<br>令和元年度全国簿記電卓競技大会<br>主催：公益社団法人全国経理教育協会<br>電卓団体競技 第 3 位                                                  |
| 6   | 簿記研究部     | 若松商業    | 商業                    | 令和元年度全国簿記電卓競技大会<br>主催：公益社団法人全国経理教育協会<br>簿記団体競技 第 3 位                                                                                                                           |
| 7   | 合唱部       | 郡山      | 合唱                    | 第 7 2 回全日本合唱コンクール全国大会<br>主催：全日本合唱連盟<br>金賞、文部科学大臣賞（全国 1 位相当）<br>NHK 全国学校音楽コンクール<br>主催：NHK<br>銀賞（全国 2 位相当）                                                                       |
| 8   | 合唱部       | 会津      | 合唱                    | 第 7 2 回全日本合唱コンクール全国大会<br>主催：全日本合唱連盟<br>金賞、岡山県知事賞（全国 2 位相当）<br>NHK 全国学校音楽コンクール<br>主催：NHK<br>銅賞（全国 3 位相当）                                                                        |
| 9   | 美術部       | 会津学鳳    | 美術・工芸                 | 日学・黒板アート甲子園®2019<br>主催：日学株式会社<br>最優秀賞（第 1 位）                                                                                                                                   |

| No. | 団体名 | 所属校名 | 専門部 | 全国大会での成績                                               |
|-----|-----|------|-----|--------------------------------------------------------|
| 10  | 文学部 | 磐城   | 文芸  | 第34回全国高等学校文芸コンクール<br>主催：全国高等学校文化連盟<br>優秀賞（一ツ橋文芸教育振興会賞） |

(イ) 優秀個人

| No. | 氏名    | 所属校名 | 専門部  | 全国大会での成績                                                                 |
|-----|-------|------|------|--------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 佐藤 一貴 | 磐城   | 放送   | 第43回全国高等学校総合文化祭放送部門<br>主催：全国高等学校文化連盟<br>アナウンス部門 優秀賞（全国1位相当）              |
| 2   | 佐藤 優花 | 郡山商業 | 商業   | 第66回全国高等学校珠算・電卓競技大会（電卓の部）<br>主催：全国商業高等学校長協会 全国商業高等学校協会<br>電卓の部 伝票残競技 優勝  |
| 3   | 鈴木 琴美 | 郡山商業 | 商業   | 第66回全国高等学校珠算・電卓競技大会（伝票算競技）<br>主催：全国商業高等学校長協会 全国商業高等学校協会<br>珠算の部 伝票残競技 優勝 |
| 4   | 常松 桜  | 視覚支援 | 特別支援 | 第88回全国盲学校弁論大会<br>主催：全国盲学校長会、毎日新聞社点字毎日、毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団<br>優勝            |
| 5   | 松野 未悠 | 磐城   | 文芸   | 第34回全国高等学校文芸コンクール<br>主催：全国高等学校文化連盟<br>小説部門 優秀賞（第2位相当）                    |

(ウ) 優秀指導者 令和元年度は該当者なし

